

新年のご挨拶



(社)三原青年会議所
第46代 理事長
渡辺 敏

新年明けましておめでとうございます。2007年の年頭にあたり、この一年が皆様方にとって最良の年でありますよう、心からお祈り申し上げます。また、旧年中は(社)三原青年会議所に対し暖かいご支援とご協力を賜りましたこと厚く御礼申し上げます。本年、私たち(社)三原青年会議所は創立45周年という記念すべき年を迎えます。これもひとえに皆様方の暖かいご厚情の賜物と心より深く感謝申し上げます。

時代の鼓動

いざなぎ景気以来の景気拡大、バブル時に近い都心での地価の高騰、主要都市銀行にて過去最高利益など、これらのニュースを聞けば、日本は失われた10年を取り戻し、景気が回復して立ち直ったのだと誰もが思うでしょう。しかし一方では、ワーキングプアという言葉に代表される所得格差の拡大、大手企業と中小企業との景況感の違いなど、私たちの生活を推し量る上で、重要な要素である経済ひとつとっても、景気不景気で説明できない状況ではないでしょうか。言い換えれば、私たちは今までの価値基準では言い表せない不透明な時代にいるのではないのでしょうか。

三原への想い

三原がどんなまちになったらいいと思われませんか。私は住民すべてが人との繋がりを密接に感じ、自らの能力を人様のためにいかに発揮できるまちになったらと思っています。そして100年後、1000年後と子々孫々まで、行政的にも経済的にも安心して安全に暮らせるまちであってほしいと願っています。

私たちの住む三原は、中国地方のほぼ中心に位置し、交通の要所であり、気候が温暖で海と山に囲まれた自然を満喫できる大変恵まれたまちだと思います。また、歴史的に縄文・弥生・古墳時代の遺跡が数多く残っておりますし、市中心部においては戦国時代の武将小早川隆景が浮城を築城したとき以来の城下町でもあります。さらには住民パワーをいかに発揮できる浮城祭り、さつき祭り、神明市、はだか祭り、白竜湖祭り、やっさもっさ祭りなどのイベントが四季折々にあります。

三原は、今後の都市間競争において、表面的にも潜在的にも、大いなる存在感をみせる可能性を秘めたまちだと思います。

ビジョン「三原の誇想創力」の実現に向けて

一昨年発表しました、(社)三原青年会議所ビジョン「三原の誇想創力」では、誇りあるオンリーワンの輝く三原を創る為には、市民・企業・行政が相互理解し、主体性を持って一体となり協働で、三原固有の財産である歴史、伝統、風土、文化を活かしたまちづくりをおこなう必要があるとしています。その早期実現に向け、まちの根幹ともいえる地域の人が、未来への可能性を感じ、前向きにまちづくりへと関わってゆけるよう取り組んでまいります。

遥かなる未来へ向かって

私たちの未来への希望であり、地域の宝でもある子どもたちが、自分のことより人様のことを優先的に考えられ、どんな逆境にあっても挫けることなく、個としての存在感を持ち、三原に根ざして生きる「健気で逞しい、個性溢れる地域に根ざした三原っ子」へと育つよう、家庭・学校・地域が一体となって、子どもたちを見守り育成してゆける、充実した地域共育環境の構築に向けて活動してまいります。

終わりに

最後になりましたが、本年も私たち青年会議所メンバー一同、責任世代の人間として、喧々諤々と議論を重ね、互いに切磋琢磨しあいながら、基本理念とする「明るい豊かなまち」の実現に向け、最善を尽くすべく活動してまいります。併せて本紙「やっさもっさ」のなお一層のご愛読をお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

写真提供 藤原 敏明氏

みたがきいたが

「あけましておめでとうございます」この挨拶から一年が始まる。そして「おはよう」という挨拶で我が家の一日が始まる。何故か妻と子どもに毎日一番に発する言葉が「おはよう」の一言であり、朝起きて一番に聴く言葉も妻、そして子どもたちの「おはよう」という挨拶である。現在では親と子、

親と親の間の挨拶が少なくなってきたと聞く。挨拶をして会話が始まる。それが本来の姿である。◆本来の姿とはいったい何なのでしょう。「本来の自分の姿とは…」と自分に問うと考え込んでしまう。今の自分を否定してしまう自分と、今の自分が正しいと意味もなく納得している自分。自分の気持ちの中で、その見えない答え、見えて欲しくない答えに対し

て右往左往している自分が今ここにいる。◆本年度(社)三原青年会議所はこれまでに様々なまちづくり運動を展開し、本年度、創立45周年を迎える。青年会議所の本来の姿とは、市民・企業・行政から青年会議所の存在が必要でなくなることはないかと考えます。我々青年会議所が目指す「明るい豊かなまち」が実現すれば我々の活動も必要なくなるのかもしれない

れません。◆「明るい豊かなまち」を目指す我々の活動の一つとして本紙「やっさもっさ」を多くの皆様のご協力により発行しております。この一年は一人でも多くの皆様に手にとって読んでいただき、我々の目指す「明るい豊かなまち」を理解していただけるよう努めてまいります。本年度も皆様のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

緊急告知

三原の新時代と一緒にクリエイトしませんか!?

J C 三 信 条

Mihara Junior Chamber Int.

★社会への奉仕★



第31回

行政や市民の方々と対話をする中から、まちのために何が必要かを考え、祭りやイベントなどの事業を行います。

★青年経済人として自己修練★



定期的に経営に関わるセミナーや自己の能力を高めるプログラムも有り自分自身を成長させることが出来ます。

★仲間との友情★



同じ志を持った仲間と語り、そこからあらゆる人的ネットワークを創り、新鮮で刺激的な出会いの場を与えてくれます。

会員一同心より入会をお待ちしております。

青年会議所ってどんなところ?

●青年会議所(JC)とは?

簡単にいうと『明るい豊かな社会』を目指す青年団体です。

●JCの特徴は何ですか?

青年会議所を他の団体から区別する最大の特徴は年齢制限にあります。年齢が満20歳から40歳までであり、何よりも「品格のある青年」でなければならないのです。また、役員・組織・事業等の「単年度制」、そして会員は自分の住んでいるまたは、職場のある都市の青年会議所に所属すること。以上が主な特徴です。

●有名なJC会員はいますか?

日本では現総理大臣の安倍晋三さんをはじめ、総理大臣経験者の多くは青年会議所OBです。海外でもコフィー・アナン(ガーナ)、ビル・クリントン(アメリカ)、チャールズ・リンドバーグ(アメリカ)、ジャック・シラク(フランス)など多数います。(日本青年会議所のホームページにて掲載されています)

●日本のJCをつくった人はどんな人ですか?

第二次大戦の兵役から帰還し、焼け野原となったまちに失望した若年28歳の青年・三輪善兵衛氏(後のミツワ石炭社長)が青年経営者たちの自己修練と地域への奉仕を通じ、日本経済再建の担い手としての力を養うことを目的とした組織を立ち上げることを決断。48名の同志を集め、1949年9月3日「東京青年商工会議所」の発会式が行われました。

●全国にはいくつの青年会議所があるの?

739の青年会議所があります。(全会員数約43,000人)、世界では112カ国に約270,000人の会員がいます。

●JCのバッジに描かれているのは国連マークではないのですか?

JCI(国際青年会議所)は元会員であったロックフェラーがニューヨークの土地を国連に提供して以来NGOとして国連から特別の地位を与えられ民間組織の中で唯一国連マークの使用を許されています。

●JCで友達は出来ましたか?

青年会議所においては、一つの事業目的達成の為に志を一つにして多くのメンバーと活動をしてまいりますので、自然と友情が芽生えてきます。殆どの方が社会人としてお勤めになられてからは、自身の仕事関係、趣味などを中心として人脈が広がっていくものと思われそうですが、青年会議所での人脈は仕事や趣味などにもよらない人間関係、人脈ができることから、非常に特別で大切だと考えている方が多いようです。

OB会長より一言

『まずはやってみよう』

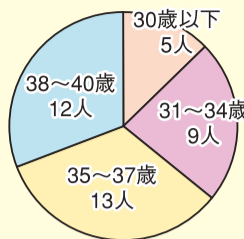
私の入会のきっかけは、大学卒業と同時に三原に戻った時、多くの先輩、知人からの進めもあり何も考えるまもなく、青年会議所に入会したというのが正直なところです。ところが実際に入会してみるとすべてのことが新鮮で、まちづくりのための各事業や、やっさ祭りの運営など充実した貴重な体験をすることができました。そして、多くの人と出会えることも青年会議所の魅力であり、卒業した今でも新入会員と接することができ、人との出会いは広がっています。今しかできないことを、まずはやってみよう!



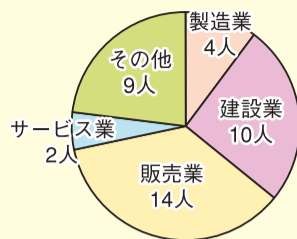
(社)三原青年会議所
OB会長 平田 修己

円グラフでみる三原JC

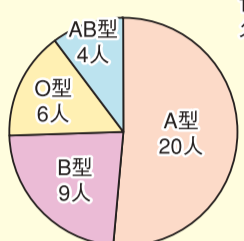
年齢層



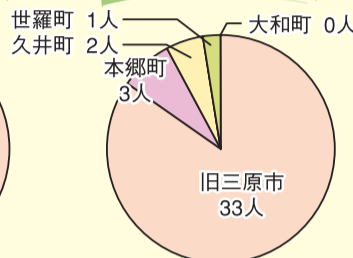
職業別



血液型



住んでいる地域



JC度チェック

あなたのYESはさて何個?

- JCを知っている
- 他人にはマネできないような特技を持っている
- 最近、感動して涙を流した
- 三原の美味しい店を知っている
- おしゃれに気を使っている
- スポーツをするのが好き
- パソコンが得意
- 約束は絶対守る
- ボランティア活動をしている
- 人の嫌がることを率先してできる
- 自分を磨きたいと思っている
- 信頼できる親友がいる
- かなり変わった友達がいる
- 夢を持っている
- 現在、情熱を持って何かにチャレンジしている
- やっさ祭りが好きだ
- 三原が大好きだ

*YESが13~17個あった人

かなり充実した毎日を送っているあなたは...
我々とともにさらに充実した毎日を!

*YESが9個以下の人

平凡な毎日を送っていませんか?
我々とともに充実した毎日を!

JCの魅力をもっと知りたい方は

下記の電話・FAX・Eメールにて...

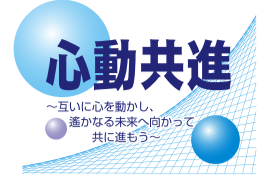
TEL: (0848) 63-3515

FAX: (0848) 62-1141

E-mail: info@mihara-jc.com

担当

拡大・研修委員会 井上・富田



2007年2月25日 Vol.343



3.3%

昨年度、三原市内で100人に3人以上の
中学生が不登校になって悩んだのです。
そして今も…。決して他人事ではないのです。

現代の私たちを取り巻く大きな問題のひとつに教育問題があります。テレビなど諸媒体で頻りに教育問題は取り上げられており、現状を把握している気がしますがそれは全国レベルのことと他人事のように無関心になっていないでしょうか。しかし三原でも教育問題は深刻なのです。三原の教育問題については、子どもがいない方は、なかなか知るすべが無いでしょうし、子どもがいる家庭でも学校任せで興味を持たれてない方もいらっしゃると思います。しかし情報が無いと問題意識は生まれませんし、行動を起こす必要性も感じないのではないのでしょうか。そこで今号ではまず知っていただき、考えて欲しいとの思いから、三原でも深刻な問題のひとつである不登校問題に取り組みされている、ふれあい教室(三原市青少年女性課)の平原室長にお話を伺いました。

※不登校児童生徒とは
文部科学省では、「何らかの心理的、情緒的、身体的あるいは社会的要因・背景により、登校しないあるいはしたくてもできない状況にあるために年間30日以上欠席した者のうち、病気や経済的な理由による者を除いたもの」と定義しています。

ふれあい教室とは？

様々な理由により登校できない児童生徒に対して、集団生活への適応、情緒の安定、基礎学力の補充、基本的生活習慣の改善等のための相談・適応指導を行うことにより、学校や社会的自立を支援するためのものです。また学校・家庭とも連携しており、ここへの出席は学校での出席扱いとなります。また高校生についても相談のみですが対応しております。もともと旧三原市ではユーステレホン・みはら相談室を昭和59年7月18日に開設して電話相談をいち早く開始してきました。その後、適応指導教室を平成4年に開設して不登校児童生徒の支援をしてきており、合併後の新三原市では平成17年4月1日より、これらを引き継ぎふれあい教室として新たにスタートしました。



ふれあい教室
平原室長

不登校の理由は？

主な理由としては、いじめ、勉強についていけない、家庭問題、本人の性格また精神上の問題など様々な問題が原因で不登校になります。単独の原因であればその問題を取り除くことで解決できるのですが、最近の傾向としては原因が複合的にいくつも重なり合っており、容易に解決できないのです。時間もかかりますし対応をマニュアル化することも出来ません。例えば登校を強制することで社会的自立できる場合もありますが、一方で登校させない方が良い場合も見受けられます。

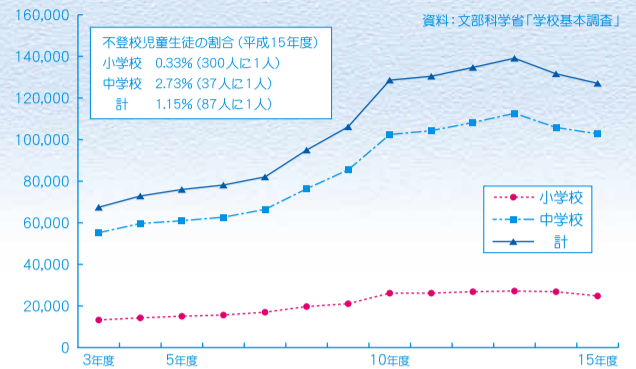
活動と連携は？

学力向上のための学習支援と自信の回復や集団適応能力の向上を目的とした体験的な活動の大きく分けて2本の柱があります。それを毎日の授業や諸活動を通して行うだけでなく、遠足や合宿等を実施してそれぞれに対応しています。主に4名の校長経験者が今までの経験を活かし2名一組になり取り組んでいます。しかしながら不登校問題は複雑かつ多様で、ふれあい教室のみで解決できるものではありません。現在学校・地域とも連携をとり、ふれあい教室は学習支援、体験活動、保護者との懇談をし、学校は不登校に陥らないように校内指導の確立また心のサポートをし、地域としては民生児童委員や県立広島大学の協力をいただいております。特に県立大学の学生にはボランティアで手伝ってもらったりしていますが、年齢が近いこともあり、良い関係が速く築ける場合もあるようです。

不登校の児童生徒はどの位いるのでしょうか？

三原市内では昨年度(H17年度)末には、中学校では85名(約3.3%)、小学校では18名(約0.36%)の不登校が確認されております。特に精神的にも肉体的にも発達してくる中学生で深刻化しております。その中でふれあい教室に通学していた児童生徒は24名おり、不登校の児童生徒のうち約4分の1がふれあい教室に入室していたこととなります。また、その中から昨年度は11名が卒業し、社会的自立を目指して頑張っております。

全国不登校児童生徒の推移



JCに期待することは？

不登校児童生徒には共通した原因はないので、地道に対応してゆくしか解決策はありません。この問題は深刻で、それはすべての子どもたちにも可能性があり、決して他人事ではないことを多くの方に知っていただきたいと思えます。そういった意味でも行動力・認知度・他との連携もあるJCに、ひとりでも多くの方に知っていただくきっかけを作りたいと思えます。またそれは現在悩まれている方にも非常に良いことだと思います。



共育委員会
村上委員長

今回は不登校問題を取り上げましたが、他にも多くの教育問題を抱えており、それらは児童生徒自身のみ問題ではなく、周りの環境(家庭・学校・社会)が大きく関わるものなのです。しかしそれを批判するだけでは何も解決しません。まず自分達が行動を起こさなければならないのです。我々JCとしても様々な立場から検証し、実態を把握して、未来を担ってゆく子どもたちのためにも、ひとつでも多くの問題を解決してゆけるよう取り組んでまいります。今、将来を担ってゆく子どもたちのためには、家庭・学校・地域の共育力が必要なのではないのでしょうか。

**どんなことでもかまいません!
皆様の周りにある教育問題を
教えてください!!**

またかきいたか

「モラル=不文律、書き表していない決まり事」とある。つまり法律になっていない、それ以前の人間として守るべき基本的な規則である。◆後を絶たない有名大手企業による度重なる不正。初めは「まさか…」の感が今では「またか…」に変わりつつある。これらの企業は少なからずわれわれ国民に夢と希望

を売り、われわれの生活を便利で豊かにしてくれるハズであった。それが詐欺とも取れるような「ウソ」の連続に、騙されたわれわれは完全に信頼のモノサシを失ってしまった。◆かつては大手の製品にはいわゆる「メーカー品」という安全マークがついていて、威厳にも似た無言の信頼感があった。それがまぼろしとは思いたくないが、曇り空のようにかすんで見え始めた。このこ

とで日本の製品全体の信頼性が危ぶまれることも怖い、もっと恐ろしいのは子どもたちが「偉くなるためにはうまく騙せばいいのか?」と勘違いしてしまうことである。◆その疑念はまず身近な「偉い人」に向けられ、教育現場の崩壊はますます進み、やがて日本の将来は…。ありうるシナリオである。大人社会はこのような不正は断固として正すべきである。「嘘がばれたときはこ

うもひどい目にあうのか」という厳しさを子どもたちに教えないければ日本の未来に光はない。◆他人の中で生活せざるを得ない人間社会において「自分さえ良ければ」という考えが、如何に愚かな事に気づかなければ、道徳観の無い法治社会など砂上の楼閣なのである。決してそういう失敗も「あるある」と見過ごしてはならないのだ。

社団法人 三原青年会議所 OB現役新年懇親会 開催

交流委員会（檜山委員長）は、去る1月15日（月）三原国際ホテルにおいて（社）三原青年会議所・OB現役新年懇親会を盛大に開催しました。来賓の三原市長からも「合併して3年目を迎える三原市も、本当の意味でまちづくりが形として現れてきており、これは三原青年会議所のそれぞれの活動も大きな要因のひとつだと思っております。」と温かいご祝辞をいただきました。また、第32回三原やっさ祭り実行委員会や、第37回広島ブロック会員大会／創立45周年記念大会実行委員会からのPRも行い全員の気持ちをひとつにまとめることができました。OBの気合に押されつつも、年の差を越えOBと現役が懇親を深めることができました。



交流委員会 檜山委員長

来年もぜひ参加したいと多くのOBの方々から温かい言葉をいただきました。これを糧に今年度の事業に引き継いで一年間がんばってゆきます。



自分自身が成長し、変わりたい！
と思っているあなた！！

一緒にJ.C.しませんか？

今、（社）三原青年会議所では新規入会者を募集しています！！

（社）三原青年会議所では、明るい豊かなまちづくり運動の中で、経営者としての資質の向上を図り、企業経営に活かせるセミナーの開催や、地域の共育力の向上を目指した地域・学校・行政との連携事業などを行っています。その他では、家族会やスポーツクラブを通して、会員同士・家族間の交流も行っています。あなたも自分自身や企業の成長、ネットワークづくりのきっかけとして青年会議所に入会してみませんか。

※入会を考えている方は、毎月19日に行う例会に訪問することができます。

気軽に参加してみてください！！



- 会員資格** 年齢25～35歳（原則として）性別不問。三原市内在住及び近隣町村に在住、または勤務されている方。
- 締め切り** 4月30日まで
- 入会方法** 詳しくは下記お問い合わせ先にご連絡ください。担当：井上・富田（拡大・研修委員会）



第32回 三原やっさ祭り

キャンペーンテーマ大募集

- 過去3年間のキャンペーンテーマ —
- 第29回：やっさ2004 夏色ゆめ色あなた色
- 第30回：響きあう 新たな鼓動 夢やっさ
- 第31回：好きなんよ うちのやっさ うちの三原

『第32回三原やっさ祭り』を盛り上げるため、キャンペーンテーマ（キャッチフレーズ）を公募いたします。

8月10・11・12日の3日間開催予定の三原やっさ祭りは、メインとなるやっさ踊りを中心に、花火大会やステージイベント等、たくさんのイベントを企画中で、気楽に参加できる楽しいお祭りになりたいと考えております。

三原市最大の夏祭り「三原やっさ祭り」にふさわしく、また、一人でも多くの方々に参加していただけるような、明るく楽しい、そして親しみやすいキャンペーンテーマを広く募集します。

- ◆応募方法
ハガキ、封書、FAX、Eメールまたは、持参。ホームページからも応募できます。詳しくは右記まで。
- ◆募集締め切り
平成19年3月2日（金）必着
- ◆表彰
優秀賞（1点）賞金3万円とやっさオリジナルグッズ
佳作（2点）やっさオリジナルグッズ

- ◆応募先
〒723-8555 三原市皆実4丁目8-1
三原商工会議所内
三原やっさ祭り実行委員会 森山まで
TEL 0848-62-6155
FAX 0848-62-5900
メールアドレス：yassa@mhr-cci.or.jp
ホームページ：http://www.yassa.net/

わくわくWORK三原2006開催

2000年に当青年会議所と広島大学附属三原中学校との共催で立ち上げられた職場体験事業「わくわくWORK三原」も今年で7年目を迎え、現在三原市内の公立中学校では、旧三原市内の中学8校、また久井・大和・本郷の中学校においても「職場体験授業」として全ての中学校が実施しています。附属中学においても2月12日から2月16日まで2年生の生徒84名が三原市内の各事業所にて職場体験をしました。現在は当所の手を離れ学校のみで開催されていますが、今回は学校より職場体験に向けての心構えをレクチャーして欲しいとの事で2月6日の第2回講演会にて当所より2名派遣いたしました。生徒達は仕事を実際に体験することに不安を抱きながらも、とても興味を持ち目標を持って真剣に取り組んでおり、素直で優秀な生徒達に感心しました。この事業を継続していただいている学校またご協力いただいている事業所の方々にも感謝いたします。そして職場を通して地域の人とふれあい、多くの学びを得たであろう生徒達のさらなる成長を期待します。

やっさもっさ伝言板

お詫び

先月号の広告協賛企業掲載欄にての漏れがありましたことをお詫び申し上げます。ご協賛、誠にありがとうございます。

- 『あまの歯科・矯正歯科』
- 『食事・酒処 きらく』

すべてのお問い合わせ投稿先は…

（社）三原青年会議所

〒723-0052 三原市皆実4-8-1 三原商工会議所内
TEL：(0848) 63-3515 / FAX：62-1141

- Eメール info@mihara-jc.com
- HP http://mihara-jc.com
- 「やっさもっさ」ホームページ
http://www.mihara-jc.com/y-mossa.htm
- 発行元 （社）三原青年会議所
- 編集 広報委員会



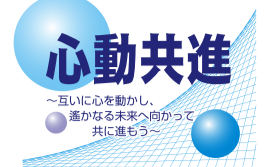
← 携帯の方は、こちらからお問い合わせ下さい。

やっさもっさチャンネル

今月の放送予定日（三原テレビ放送）

	26日	27日	28日	1日	2日	3日	4日
7:30			○	○	○	○	
9:30			○	○	○	○	
12:30			○	○	○	○	
18:15		○	○	○	○		
20:30	○	○	○	○	○	○	○
22:30		○	○	○	○		
24:30						○	○

MCAT



2007年3月25日 Vol.344



2月例会開催

「三・食・感」事業第1弾！

協働 三原の進むべき道とは！

賞から消そして商に！

協働委員会(作田佳史委員長)は去る2月19日(月)三原国際ホテルにおいて「三・色・感」事業第一弾～身近な食を通したまちづくり～と題し、三原市近郊の市民・企業・行政の皆様にご参加いただき公開例会を開催しました。今例会では市民・企業・行政が一体となって協働でまちづくりを推進してゆく為に、地産地消を地域活性化のツールの一つとして事業を展開されている、山口県萩市のスーパー アトラスの店長 田村公利氏をお招きし、講演していただきました。

地産地賞とは

現在は情報網の発達やスピード社会の中で、地元や地域や日本を愛する気持ちが薄れているとも感じられます。例えば「三原市の名産品は？」と聞かれていくつ答えられるでしょうか？代表的なもので、旧三原地区ではタコ・わけぎ・みかん、本郷地区ではぶどう・鮎・天然水、大和地区では桃・はと麦、久井地区では米というように多くの「食」があるのです。地域の食を見つめ直し賞するという事は自分の地域に愛着を持つことの第一歩だと考えます。



さに地域全体の協働事業ではないでしょうか。苦労もありましたが、米をまちのブランドとして萩を全国にPRできたと思っております。その結果、萩市は地産地消と歴史観光の融合により商するようになったと確信しております。



地産地消を取り組む上での注意点は

地産地消は継続事業でなければなりません。まず行政のコーディネイターとしての熱いスピリットが必要で、地域全体が中途半端な取り組みではなく地産地消は地域の活性化の原点だと信じ、地域レベルで全てを超越し実践するものなのです。会社単独だけではなく地域レベルで生産者、行政、店舗、消費者が取り組むものでなければ、一過性のものになってしまい、後悔と借金と残骸が残るだけです。

例会を終えて

「地域活性化は一人では出来ない、どんな小さなことからでも不転の決意をもって活動してゆけば、やがて大きなものとなり、地域を変え、まちを変え、いずれは日本も・・・というように大きくなってゆく」と講師は熱く語られました。これはひとつの成功事例であり三原市が同じことをするべきだということではありません。しかしながら協働で行なうまちづくりの素晴らしさ、力の大きさを改めて感じさせて頂けるものでありました。これはまさに私たちの目指してゆく姿であり、これから「三・色・感」事業を展開してゆく上で、今例会で学んだことを活かし、今後も明るい三原の未来の為に、市民・企業・行政の三者が一体となった協働でのまちづくりを推進してゆきます。

地産地消とは

食の欧米化等により日本の食文化は変化していますが、医食同源というぐらい「食」は健康にとって重要なものです。また「身土不二」といって、身体と土とは一つであり、身近なところで育ったものを食し、生活するのが良いとする考え方もあります。また講師はスーパーの店長という職業柄、お客様(市民)からの地物に対する需要が多かったことを知ることができ、地物コーナーを作るだけでなく地物を使った料理レシピの配布や料理教室をする事などで取り組んできました。地物を消するということが第2段階ではないでしょうか。

地産地商とは

市民・企業・行政が一体となって地産地消事業を推進しているうちに、萩はもともと米が多く生産されていることからオリジナル米を作って全国に発信しようという案が出てきました。これはま

みたかきいたか

1981年、三原駅前「顔」としてペアシティ東館、西館はオープンして以来、三原市民の憩いの場として活躍した。◆ペアシティ東館は、百貨店の天満屋と様々な専門店の協同ビルであったが、昨年3月に天満屋が撤退した。その後、専門店だけで営業を行っていたが、新

たな駅前再開発の一步として2月28日をもって閉館した。この後、ペアシティ東館は取り壊され、新駅前再開発ビルが建設されるらしい。◆ペアシティ東館26年の歩みは、私たち三原市民に何をもたらしてくれたのだろうか。この閉館は、三原市民にとって寂しいこととも思えるが、今の三原には不要なものであると市民が判断した結果ともい

えるのではないだろうか。◆今、駅前の小さな商店街が様々な危機感をもって立ち上がるとしている。以前より、駅前を利用している買い物客が減少している中、月に何回も会議を重ね「土曜テント市」を開催することを決定し、昨年9月試験的に開催した。この「土曜テント市」は三原市、三原観光協会、三原商工会議所が後援となり、様々な関係者

の協力の末、大成功に終わった。郊外型の大型店舗とは違った情緒あふれる賑わいが駅前に戻ってきた瞬間であり、今年から毎月第3土曜日に開催されるそうだ。◆最初は商店街が立ち上げ、様々な企業、行政と協働で行われた「土曜テント市」は市民の期待と様々な夢に溢れているようにも思われる。三原市民として心から応援したいと思う。



田村講師

プロフィール

田村 公利(たむら たかし)氏
生年月日 1957年8月3日(49歳)
株式会社アトラス 執行役員 アトラス萩店店長
その他、NPO 萩市市民シアター顧問、萩地域食と緑の県民フォーラム実行委員、萩地域農林業・農山村振興協議会委員、萩地域食育推進協議会委員、萩商工会議所議員等として活躍中。

受講者の声

私もスーパーの店長をしており、本日の講演に非常に感動すると同時に刺激を受けました。いろいろな協働での食の取り組みを聞かせていただき、私も三原市内で仕事をしている以上、今の自分に何が出来るか考えて、三原市発展のために協働での取り組みを実践してみたいと思いました。

私は観光に携わる仕事をしています。三原市も合併し、観光交流会議にて、行政、観光協会、商工会、商工会議所、飲食組合、旅館組合等、様々な立場の方に集まって頂き三原の観光を模索していますので、協働の重要性を改めて感じると共に、非常にタイムリーで参考になる意見を頂きました。



協働委員会 作田委員長

「三・色・感」

市民・企業・行政のそれぞれが三原の特色を知り、活かしながら一体感を感じていただくという意味の造語



社会総がかりで教育再生を！

今日の学校教育は、学力低下や、未履修問題、いじめや不登校、校内暴力、学級崩壊、教員の指導力不足など深刻な問題があります。子ども一人ひとりが充実した学校生活を送り、夢と希望を持ち、充実した人生を送るために必要な力を身につけて欲しいと思います。かつて家族や地域社会にあった温かい人とのつながりが希薄になる中、家庭、地域、企業、団体、官庁、メディア等あらゆる層の人々が「教育の当事者」であるという自覚を忘れ、真剣に行動を起こさなかったことが、現在の教育荒廃を招いた大きな原因の一つであると思います。しっかりと学力と人格を磨き、学校と共に、家庭や地域全体の関係者全てが、当事者意識を持って、社会総がかりで「国の宝」である子どもを育ててゆくべきではないでしょうか。



共育委員会 村上委員長

3月例会内容

三原テレビにて 放映予定!!

経営セミナー開催!!

気軽に仮入会から体験してみませんか?

4月19日(木)「今、求められる企業の社会的責任」と題し、経営資質向上セミナーを開催します。是非、我々の活動を体験してみませんか?



セミナー風景

(社)三原青年会議所では、明るい豊かなまちづくり運動の中で、経営者としての資質の向上を図り、企業経営に活かせるセミナーの開催や、地域の共育力の向上を目指した地域・学校・行政との連携事業などを行っています。また、家族会やスポーツクラブを通して、会員同士・家族間の交流も行っていきます。あなたも自分自身や企業の成長、ネットワークづくりのきっかけとして青年会議所に入会してみませんか。

入会資格 年齢25～35歳(原則として)性別不問
三原市及び近隣市町村に在住、または勤務されている方。

締め切り 4月30日まで

担当 詳しくは井上・富田(拡大・研修委員会)までお問い合わせください。



野球部

2007三原ミスやっさ大募集

中国地方最大の夏祭りである「三原やっさ祭り」は、今年で32回目を迎えます。

この三原やっさ祭りを通して、私たちのまち「三原」を全国にアピールしてみませんか?きっと忘れることの出来ない素晴らしい思い出があなたを待っています。



2006 三原ミスやっさ

応募資格 三原市内及び三原市近郊居住者または勤務者
満18歳以上の方(高校生不可)
観光アシスタントとして三原を全国にPRして頂ける方

受付期間 平成19年3月26日(月)～5月2日(木)まで

賞品 <ミスやっさ3名>・ハワイ旅行6日間 その他賞品
・夏、冬制服を支給します
*それぞれの推薦者には推薦者賞をプレゼント
<2次審査参加者>・参加記念品を全員に差し上げます。

申込先 〒723-8555 三原市皆実4丁目8-1 商工会議所内
三原やっさ祭り実行委員会 担当:森山
TEL 0848-62-6155 FAX 0848-62-5900
ホームページからも申し込みます。http://www.yassa.net/
所定の申込用紙に必要事項を記入しお申し込みください。

JCメンバーが特別講師!

総合技術高校にて特別講義開催!

広島県立総合技術高校にて右表の要領で青年会議所メンバー7名が講師を務めました。もともとの経緯は学校側より、地元企業で活躍している社会人に、実体験を基にしたビジネスに関する講義を現代ビジネス科の生徒(1・2年生)を対象に授業として行って欲しいとの依頼を受けたことが始まりでした。我々はまだまだ社会人として成長途上の青二才ですが、だからこそ伝えられることもあると確信し、メンバーのなかで実行委員会を結成し講義に挑むこととなりました。若くて元気のある生徒を前に緊張しながらも、手作りの温もりが感じられる講義となり、教科書では伝えきれない部分を伝えることができたのではないのでしょうか。

日時	講師氏名	テーマ
①2月19日(月)1年 5限	守岡 輝幸	信用金庫という選択
②2月22日(木)2年 5限	菊川 美仁	儲ける会社・損する会社・消える会社 パート①
③2月22日(木)2年 6限	菊川 美仁	儲ける会社・損する会社・消える会社 パート②
④3月12日(月)1年 5限	井上 尚彦	何事も挑戦
⑤3月12日(月)1年 6限	作田 佳史 矢崎 昌樹	私の「敬業道」 熱く、楽しく
⑥3月15日(木)2年 5限	亀田 尚史	夢に向かってチャレンジ ～If you can dream it, you can do it.～
⑦3月15日(木)2年 6限	生駒 明宣	サービス業としての葬祭業



守岡講師

生徒の感想

- 会社の利益のことや、営業に必要な知識を教してもらいました。お客様のために頑張った自分が自分にも帰ってくる。これは決してきれいごとではなく、自分勝手な考え方は会社は成り立たないということを強く感じました。
- チームワークの大切さを感じました。グループで協力することによって仲が良くなるし、お互いに相談することでひとりではできない大きなことができると感じました。
- まだ将来どんな仕事をしたいか決めていませんが、どんな仕事でも自分のことだけでなく、周りのこと、お客様のことを考えて仕事に取り組めるよう頑張ります。
- 働いている世代の人の話を直接生で聞くことがないので楽しかったです。

- 隅々の掃除が行き届いているディズニーランドの裏側での私たちに見せない努力の話など、例を出してもらって分かりやすかったです。「また行きたい」と思うのは関わっているすべての人の想いがひとつになっているからだと思います。
- 最初にクイズ形式で話をさせていただいたので堅そうな話も興味を持って聞きました。ビジネス学科なのに知らないことはいっぱいあることに気づきました。
- 身近な例を出しながらの講義で分かりやすかったです。そんな中でしっかりした「ビジョン」を持つことが重要だと思います。
- 授業で習ったことが講義の中で出てきましたが、教科書に載っていないことを説明していただいたので復習ができ、改めて理解することができました。

講義を終えて

今回講義させていただいたメンバーの中には、他での講師経験のある者もありましたが、総合技術高校の生徒の高校生とは思えない授業に対する集中力、ビジネスに対する好奇心の強さ、前向きな姿勢に驚きました。このたび学校での講師を経験させていただいたことで、私どもも貴重な体験をさせていただき、多くを学ばせていただいたように思います。このようなチャンスを与えてくれた総合技術高校の皆様感謝いたします。



講義風景

やっさもっさ伝言板

「ちょっと一言」投稿募集

みなさんの投稿を募集しています。特に、まちづくりへのご意見・ご感想をぜひともお聞かせください。

モニター募集

良い紙面作りのためにモニターになってご意見を聞かせていただけませんか? 毎月の簡単なアンケートを中心に実施いたします。

すべてのお問い合わせ投稿先は...

(社)三原青年会議所

〒723-0052 三原市皆実4-8-1 三原商工会議所内
TEL: (0848) 63-3515 / FAX: 62-1141

Eメール info@mihara-jc.com
HP http://mihara-jc.com
「やっさもっさ」ホームページ
http://www.mihara-jc.com/y-mossa.htm
■発行元 (社)三原青年会議所
■編集 広報委員会



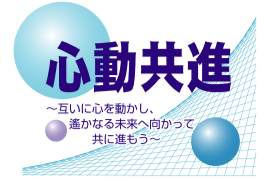
← 携帯の方は、こちらからお問い合わせ下さい。

やっさもっさTV

今月の放送予定日(三原テレビ放送)

	26日	27日	28日	29日	30日	31日	1日
7:30			○	○	○	○	
9:30			○	○	○	○	
12:30			○	○	○	○	
18:15		○	○	○	○		
20:30	○	○	○	○	○	○	○
22:30		○	○	○	○		
24:30						○	○

MCAT



2007年4月25日 Vol.345



3月例会開催

三原テレビにて放映!!

放映時間

4/28(土) 21:00~
4/29(日) 10:00~
4/29(日) 21:00~

わがまちの教育問題 徹底討論!

共育委員会(村上陸宏委員長)は去る3月19日(月)三原国際ホテルにおいて「わがまちの教育問題 徹底討論!」と題し、3月例会を開催しました。今例会では三原の教育現場の前線でご活躍中の3名の方をお招きし、(社)三原青年会議所 渡辺理事長を交え、パネルディスカッション形式で、いくつかの現在の教育問題をそれぞれの立場から分析し討論していただきました。



パネリスト

- ふれあい教室 指導員 浦島 啓氏 (うらしま あきら)
- 三原市教育委員会 学校教育課 課長 (4月より三原市立宮浦中学校校長) 井原 剛治氏 (いはら こうじ)
- 三原市PTA連合会 母親代表 和久野千尋氏 (わくのちひろ)
- (社)三原青年会議所 理事長 渡辺 敏 (わたなべ さとし)

不登校問題について

家庭の教育力について

浦島氏 もともと全国的にみて、広島県は不登校問題が深刻であり、三原も例外ではありませんでした。しかし、最近では様々な方々のご協力もあり、三原では減少しつつあります。しかしながらまだ全国平均に近づいているというレベルでまだまだ深刻です。

浦島氏 子どもの健全な成長には、朝ご飯、早寝・早起きなど、正しい生活リズムをとることが重要ともいわれております。しかしながら現在の子どもたちにとって、この環境が整っているとはいえないと思います。これを改善するのは家庭でないと出来ないのではないのでしょうか。

和久野氏

学校と家庭の連携が大切で保護者も、もっと学校に関わってゆけばよいと思います。そして困ったときには地域の皆様の協力を頂きたいと思います。日頃から地域との交流を持っていれば、必ず力を貸してくれるはずだと思います。

和久野氏 私の子どもの通っている学校でも、不登校の生徒がいることは聞いています。他人事ではなく、現実身近な教育問題なのだと感じています。

和久野氏 昔とは子どもたちを取り巻く環境が変わってきており、ゲーム、テレビといった誘惑が多いのも現実ですし、これを否定することもできません。ただ、そういった欲望をすべて満たすのではなく、節度を持たせることが必要で、こういったことは家庭で教えてゆくことだと思います。

理事長

人間は明るい未来がないと生きてゆけません。その未来の大切さをもう一度よく考えて欲しいと思います。将来を担う子どものために、お互いがお互いの立場を尊重しあい、地域の大人が子どもに関わってゆくきっかけ作りが大切だと考えます。共働き夫婦やひとり親の増加などで、子どもと接する時間や環境が減っている中、家庭教育で足りない部分は地域の大人が補ってゆくことが必要なのです。

理事長 小学児童でも深刻ですが中学生徒では急に増えていることに驚かされます。

井原氏 不登校の問題に限らず、すべての児童生徒に限られた数の教師で完全に把握することは難しいのが現実です。まず家庭生活の中で、子どもの変化に気づき、何かあればすぐ学校に教えて欲しいのです。学校と家庭が責任のなすりあいではなく、協力してゆかなければ良い結果は出ないと思います。

例会を終えて……



共育委員会 村上委員長

4名のパネリストに熱く討論していただき、考え方は違えどもすべては将来を担う子どものためであり、それぞれの立場で同じ目標に向かって頑張られていることを強く感じました。

取り巻く問題に向かい合って考えるということが、まず必要なのではないでしょうか。テレビ等で報道されている子どもを取り巻く問題は大都市だけの問題ではなく、現在の三原でも大きな問題なのです。

この討論内容は三原テレビにて放映いたします。パネリストの皆様のお話から直接感じていただいて、もっと子どもに関わってゆかなくてはいけないことに気づいて欲しいのです。そして是非、皆様のご意見・ご感想を頂きたいと思います。三原の教育について、市民一体となって考えてゆきましょう!

井原氏 中学校で急に不登校生徒が増えるのは、精神的にも多感な時期であることが大きな要因だと考えられます。ただ、不登校になるのは中学生からでも小学校時代から抱えている要因に起因する場合があります。だから小学校から連動して取組まなければなりません。問題が深刻化する前に、児童生徒が体調不良以外で学校を2日休んだら家庭訪問する学校もあり、未然に防げるようにも努めています。

浦島氏 不登校問題を解決する上で、目標を持たせることは最も重要なことのひとつです。しかしながら、不登校の原因は複雑であり、それを解決するには根気強くそれぞれに向きあってゆかなくてはなりません。自分だけで抱え込むのではなく、家庭・学校・地域が連携をとってゆくことが重要なのです。

家庭の教育力が低下している理由 上位10位(複数回答)

- 過保護、甘やかせすぎや過干渉な親の増加 …… 66.7%
- TV、映画、雑誌などが子どもに及ぼしている悪影響 …… 50.5%
- しつけや教育の仕方が分からず自信が持てない親の増加 …… 47.1%
- しつけや教育に関心で明確な方針を持たない親の増加 …… 44.4%
- 学校・塾等外部の教育機関に対するしつけや教育の依存 …… 44.2%
- 父親の存在感の低下 …… 35.8%
- 親以外の大人とふれあわせる機会の不足 …… 30.4%
- 職業を持つ母親や家庭外で活動する母親の増加 …… 25.7%
- 家族一人一人の個人主義化 …… 25.3%
- 子どもにいろいろな体験をさせる機会の不足 …… 23.7%

文科科学省委託研究「家庭の教育力再生に関する調査研究」(平成13年度) 調査対象:子どもと同居する親のうち、25~54歳の男女3,859人

不登校生徒年次推移

	不登校児童数(小学生)			不登校生徒数(中学生)		
	三原市	広島県	全国	三原市	広島県	全国
H13年度	19	801	26,503	81	2,988	112,193
H14年度	12	821	25,869	77	2,982	105,383
H15年度	9	814	24,077	77	2,868	102,149
H16年度	8	718	23,318	107	2,642	100,040
H17年度	18	733	22,709	85	2,488	99,546

資料:三原市教育委員会

またかきいたか

◆桜並木の下を母親に手を引かれて入学式に向かう子どもたち、春風が優しく花びらを散らす、思わずため息がこぼれそうな絵に描いたような光景である。日本の国花でもある「桜の花に寄せる想い」は私たち日本人にとって少なからず共通の感情があるようだ。ほんの僅かの期間咲き誇り、潔く

散ってゆく気高さは武士道の象徴ともいわれる。◆武士道とは日本人としての心のあり方、身の振る舞い方を示唆するものであり、我が国の歴史・伝統・文化の中で培われてきた心の基軸であるといえよう。最近、武士道という言葉が耳にすることが多くなったが、国民がこの精神に日本人としてのアイデンティティを感じ始めたからかもしれない。◆現在、憲法改正を見据えて国民投

票法案について論じられているが、残念ながら国の基軸をどうするかという国家観について論じられないまま、争点が個々の条文にのみ向けられている感が否めないことである。また、憲法解釈という言葉が耳にすることがあるが、そもそも自国の憲法でありながら、どのように解釈するか論じる必要があることに基だ疑問を感じる。◆戦後60年、日本は現行憲法を基軸として歩ん

できた。国民の責任・義務よりも個人の自由・権利に重きを置いた現行憲法は皮肉なことに功を奏したといってもよい。憲法改正にあたっては国会議員の3分の2以上の賛成をもって国会が発議し、日本国民の半数以上が賛成票を投じる必要がある。日本人として「桜の花に寄せる想い」をひとつにすること以外に、この大きな壁を乗り越えることはできないのではなからうか。

(社)三原青年会議所 創立45周年記念事業 開催決定!!

今回は「がばいばあちゃん」で有名な島田洋七さんをお招きします!

(社)三原青年会議所では、1962年の創立以来「明るい豊かなまちづくり」を基本理念として活動してきましたが、皆様のおかげを持ちまして本年度45周年という節目の年を迎えることができました。

これまで、節目の年には記念式典に加え、「三原青年会議所活動への理解」と「市民の皆さまへの感謝の意味」を込めて著名な方をお招きして入場無料にて公開講演を開催して参りました。その講演内容は時代を反映し

た問題などをテーマにしたものを行っております。現在、子どもを取り巻く環境は「いじめ」「自殺」「犯罪の低年齢化」などが社会問題になっており、市民の皆様も多くの不安など抱えておられると思います。その中に光が射すような内容の講演を予定しております。詳細は次号「やっさもっさ」にて報告いたしますのでご期待ください。

(社)三原青年会議所 創立周年記念事業のこれまで

	開催日	講演者	テーマ
20周年	1982. 5. 9	小 椋 佳	タメ息ナンテ、オツキデナイヨ
25周年	1987. 5. 30	吉本新喜劇	「吉本新喜劇&バラエティショー」
30周年	1992. 3. 6	藤島親方 (元大関 貴ノ花)	「わが相撲人生」
35周年	1997. 5. 11	山田邦子	邦ちゃんの「リサイクルで未来クル」トークショー
40周年	2002. 3. 3	竹村健一	「これからの日本」～地方自立へのシナリオ～

6月25日(月)
開催決定!!



島田 洋七氏

やっさもっさ祭りコーナー

2007三原ミスやっさもっさ大募集中!



2006 三原ミスやっさもっさ

受付期間5月2日(水)まで

詳しくは、やっさもっさ祭り実行委員会 森山まで
TEL (0848) 62-6155 FAX (0848) 62-5900
ホームページからも応募できます
HP <http://www.yassa.net>

やっさもっさ祭り実行委員会ホームページも見てね!!

第32回 三原やっさもっさ祭り

キャンペーンテーマ決定!

第32回三原やっさもっさ祭りのキャンペーンテーマの表彰式が4月4日(水)開催され、優秀賞に、檀上 隆様(三原市内在住)が選ばれ、第32回三原やっさもっさ祭り実行委員長 平野裕輔より賞状と記念品が授与されました。



平野実行委員長

檀上 隆氏

「ちょっと一言」

よく、三原って「遊ぶところがない」「道はよく渋滞するし」「つまらないまち」と、あまり良く言わない人が多くいませんか? このことは子供の頃からすりこみのように聞いているような気がします。マイナス的に考えすぎなのではありませんか!

それより、三原を良いまちだと思って考えてください。車や電車なら広島市まで1時間ちょっと、飛行機使えば東京まで2時間あれば着きますよ。港も空港も新幹線も高速道路もあるんですよ。便利のいい町のはずです!それに気候も決して悪くないと思います。暮らしやすいまちなんじゃないですか?プラス思考で考えてみませんか!僕は今の三原が大好きです。

宮沖町 20代 男性

会員募集!

今月末で
入会メ切り!

今、忙しいから...
では、遅すぎます!

本年度、最後のチャンスです!

5月21日(月)「強い営業部隊を作れ!」~売れない時代に確実に売上・利益アップする「必勝ノウハウと実践法」とは!と題し、経営資質向上セミナーを開催します。是非、入会して何かを掴み取ってください!!

(社)三原青年会議所では、明るい豊かなまちづくり運動の中で、経営者としての資質の向上を図り、企業経営に活かせるセミナーの開催や、地域の共育力の向上を目指した地域・学校・行政との連携事業などを行っています。また、家族会やスポーツクラブを通して、会員同士・家族間の交流も行っています。あなたも自分自身や企業の成長、ネットワークづくりのきっかけとして青年会議所に入会してみませんか。詳しくは、井上・富田(拡大・研修委員会)までお問い合わせください。

やっさもっさ 伝言板

「ちょっと一言」投稿募集

みなさんの投稿を募集しています。特に、まちづくりへのご意見・ご感想をぜひともお聞かせください。

モニター募集

多くの皆様より協賛金をいただき、皆様とともに発行しているこちらの青年会議所新聞やっさもっさ。良い紙面作りのためにモニターになってご意見を聞かせていただいただけませんか? 毎月の簡単なアンケートを中心に実施いたします。

すべてのお問い合わせ投稿先は...

(社)三原青年会議所

〒723-0052 三原市皆実4-8-1 三原商工会議所内
TEL: (0848) 63-3515 / FAX: 62-1141

Eメール info@mihara-jc.com
HP <http://mihara-jc.com>
「やっさもっさ」ホームページ
<http://www.mihara-jc.com/y-mossa.htm>
■発行元 (社)三原青年会議所
■編集 広報委員会



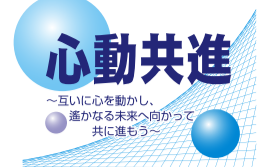
←
携帯の方は、
こちらから
お問い合わせ
下さい。

やっさもっさ TV

今月号の放送予定日 (三原テレビ放送)

	5/1日	2日	3日	4日	5日	6日
7:30		○	○	○	○	
9:30		○	○	○	○	
12:30		○	○	○	○	
18:15	○	○	○	○		
22:30	○	○	○	○		○
24:30					○	○

MCAT



2007年5月25日 Vol.346



笑いあり、涙あり、抱腹絶倒 型破りの講演会!!

(社)三原青年会議所創立45周年記念事業

島田洋七講演会開催!!

入場無料

子どもを取り巻く問題を共に考えるきっかけに!!



テーマ

「笑顔が未来を切り開く!!」

～幸せは、こころのあり方で決まるんだ!～
「佐賀のがばいばあちゃん」から学んだすべてを話します。

私たち(社)三原青年会議所は「明るい豊かなまちづくり」を基本理念とした様々なまちづくり活動に取り組み続け、市民の皆様からのご理解とご協力を賜り、創立45周年を迎えることとなりました。そこで、私たちの活動を支えていただいている市民の皆様への感謝の意を表す45周年の記念事業として、少年期に不安を抱えながらも未来に希望を持ち続け、明るい豊かな心で様々な困難を乗り越えてきた経験に、現在多くの人たちから共感を受けている島田洋七氏をお迎えし、市民の皆様が未来への可能性を感じ、明るい豊かな心を持つ人、家庭、まちを創るきっかけとなる講演会を開催いたします。

日時: **6月25日(月)** 当日18:00より
開場 18:00 (入場券を受け取られた方から入場できます)
講演 19:00～20:30
入場券配布(先着順)

場所: **三原リージョンプラザ文化ホール**
定員400名 文化ホールの定員を超えた場合、展示ホールでライブ映像を通してご覧いただくこととなります。

主催: (社)三原青年会議所
後援: 三原市教育委員会

講師プロフィール

島田洋七氏 (56才)

1950年2月10日広島生まれ

1972年 漫才師としてデビュー
1975年 島田洋八と「B&B」結成
1980年 漫才ブームをつくる
TV、舞台等で現在も活躍中

2004年 徳間書店より「佐賀のがばいばあちゃん」出版

全国3,000箇所以上での講演実績があり、著書はシリーズで400万部以上の売り上げを達成し、大ベストセラーとなる



またかきいたか

◆最近地域ブランドという言葉をよく聞く。近隣の倉敷市では倉敷ならではの魅力あるものに対してのみ、高い品質と継続する証として「倉敷ブランド」を市が認定しているそうだ。認定基準として、倉敷らしさ、独自性、信頼性が挙げられている。わかりや

すく効果的に自慢できる土壌を意図的に創ることで、市民のまちに対する愛着や自信、誇りといったものがより向上するのではと考えられる。◆ブランドを確立出来れば小さなまちや小さな国でも立派にやっといける例として、映画女優のグレース・ケリーが公妃になったことで知られるモナコ公国が挙げられる。世界で2番目に小

面積のこの国は、自らのブランドイメージを大切に戦略でヨーロッパ有数のリゾート地、世界有数の医療関係における国際会議の開催地等、レジャー及びビジネスで経済的に成功し国際的に存在感を誇示している。◆わがまち三原はどうであろうか。明確なコンセプトでユーザーに認められる三原ブランドを確立できているであ

うか。もしくは確立しようと努力しているであろうか。◆都市間競争に埋没しない独自性のある誇りある三原を子どもたちに引き継ぐ為にも、わがまちの持つ歴史、伝統、風土、文化等のポテンシャルを最大限に発揮した三原ブランドの創造を欲してやまない。

4月例会開催

今求められる企業の姿とは?

拡大・研修委員会(井上尚彦委員長)は去る4月19日(木)三原国際ホテルにおいて「今、求められる企業の社会的責任」と題し、4月例会を開催しました。今例会では講師として

近年、様々な歪が生じ企業の不祥事が相次

いで明るみに出ており、これは企業としての使命感や倫理道德の欠如から生じているといっても過言ではなく、企業は経済性だけではなく、地域社会をはじめ顧客や従業員、株主など関係するすべて組織や個人を考慮すべきであり「企業は何のために存在するのか」という本質的な命題を考え直すことができました。

講師プロフィール

ゆき たけし
柚木 猛氏 (33歳)

2007年
 社団法人名古屋青年会議所
 総務委員会 アドバイザー
 (株)ユキ印刷工業 取締役



略歴

1999年 (社)名古屋青年会議所 入会
 2004年 (社)日本青年会議所 国際アカデミー委員会 幹事
 2005年 (社)名古屋青年会議所 財務委員会委員長(理事)
 2006年 (社)日本青年会議所 経営資質向上委員会委員長



※CSRって何?

Corporate Social Responsibility

日本経団連では 企業活動において、経済・環境・社会の側面を総合的に捉え、競争力の源泉とし、企業価値の向上につなげること。

経済産業省では 法令順守にとどまらず、企業自ら、市民、地域及び社会を利するような形で、経済・環境・社会問題において、バランスのとれたアプローチを行うことにより事業を成功させること。

と定義されていますが…簡単に言うと、

自分の事だけでなく、みんなの事を考えて仕事に取り組もうということ!

やっさ祭りコーナー

2007 三原ミスやっさ決定!!



やながわ ひとみ
柳川 瞳
 19歳 学生

かわむら ゆき
河村 有紀
 20歳 団体職員

おおした ゆい
大下 唯
 20歳 会社員

5月19日(土)三原国際ホテルにおいて「2007三原ミスやっさオーディション」が開催されました。厳正なる審査の結果、42名の候補者の中から3名のミスやっさが決定しました。第32回三原やっさ祭りの親善大使として、また、民間外交の顔として各種行事へ参加致しますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

三原やっさ祭りに関するお問合せは

三原やっさ祭り実行委員会 森山まで
 〒723-8555 広島県三原市皆実4-8-1 (三原商工会議所内)
 TEL 0848-62-6155 / FAX 0848-62-5900
 三原やっさ祭りホームページ <http://www.yassa.net/>

開催決定!! 参加者募集!!

やっさメモリーズ2007

~みたかきいたか浮城物語 ともに創ろう この夏のおもいで~

開催日時 8月10日(金)

申込み期間 5月30日(水)~6月25日(月)

参加資格 原則として11歳~18歳(小学生高学年~高校生)
 低学年の場合は兄弟が出場者に限る

やっさアンプラグド2007

~アコースティックライブバトル~

今年の新目玉!!アコースティックバンドの音楽コンテスト

開催日時 8月12日(日) 13:00~16:00

開催場所 やっさ祭り三原駅前メインステージ

審査員 レコード会社制作部ディレクター(予定)

YASSA DANCE BATTLE 2007

昨年1回目にもかかわらず、大好評だったダンスバトル!
 今年もやります!沸かせます!!

開催日時 8月12日(日) 16:00~18:00

開催場所 やっさ祭り三原駅前メインステージ

その他募集要項詳細は後日やっさ祭りホームページに掲載

やっさもっさ 伝言板

「ちょっと一言」投稿募集

みなさんの投稿を募集しています。特に、まちづくりへのご意見・ご感想をぜひともお聞かせください。

モニター募集

多くの皆様より協賛金をいただき、皆様とともに発行しているこちらの青年会議所新聞やっさもっさ。良い紙面作りのためにモニターになってご意見を聞かせていただけませんか? 毎月の簡単なアンケートを中心に実施いたします。

すべてのお問い合わせ投稿先は...

(社)三原青年会議所

〒723-0052 三原市皆実4-8-1 三原商工会議所内
 TEL: (0848) 63-3515 / FAX: 62-1141

Eメール info@mihara-jc.com
 HP <http://mihara-jc.com>
 「やっさもっさ」ホームページ
<http://www.mihara-jc.com/y-mossa.htm>
 ■発行元 (社)三原青年会議所
 ■編集 広報委員会



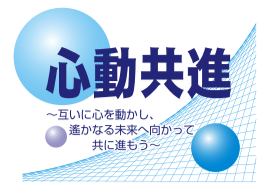
← 携帯の方は、こちらからお問い合わせ下さい。

やっさもっさTV

今月号の放送予定日(三原テレビ放送)

	5/29日	30日	31日	6/1日	2日	3日
7:30		○	○	○	○	
9:30		○	○	○	○	
12:30		○	○	○	○	
18:15	○	○	○	○		
22:30	○	○	○	○		
24:30					○	○

MCAT



2007年6月25日 Vol.347



MIHARA ANNIVERSARY



創立45周年記念事業 本日 6月25日(月) 開催!!

島田洋七講演会

詳細は4面に!!

如水館高等学校 野球部 迫田監督に聞く!!

特別対談

時代に合った教育を!

臨時増大号



現在、社会的に重要な問題を挙げるとすれば、まず教育問題ではないでしょうか。子どもと共に身近なところで接し指導され、精神的な部分までケアし甲子園に幾度も出場させるなどの実績も残されている迫田監督に、教育について対談をさせていただきました。

野球であっても他のスポーツにしても、子どもたちにとって、夢、目標を持って一生懸命頑張ることは、喜び、悔しさ、努力、忍耐、友情、自信等、多くの学びを得る良い機会であると考えます。そのために地域の大人は、子どもたちに夢、目標を見つけ出す手助けをしてあげ、しっかり支えてゆきましょう。

監督の考えている以上のことを選手が考え、行動しなくては勝てない!

プロフィール

さこだ よしあき
迫田 穆成氏 67歳
如水館高等学校 硬式野球部監督

主な略歴

昭和14年 広島市に生まれる
昭和32年 広島県立広島商業高校 野球部主将
第39回全国高等学校野球選手権大会(夏の甲子園)にて選手として優勝
昭和48年 第55回全国高等学校野球選手権大会(夏の甲子園)にて広島商業高校監督として優勝
平成5年 三原工業高等学校(如水館高等学校の前身)硬式野球部監督就任
平成17年 A A Aアジア大会にて全日本代表監督として優勝
平成5年~18年 全国高等学校野球選手権大会(夏の甲子園)に如水館高校監督として五度出場

みたかきいたか

◆例年より少し遅い梅雨入りであった。大雨による災害は遠慮したいが、盛夏期に必要な農業用の水は溜まってほしい。そんな不安や期待をよそに、ときに優しく、ときに激しく包み込んでくれる気象に美しい季節を感じるが、近年は異常が多い。そのことは、便利さと引き換えに大切なものを破壊、喪失している現状

への警告なのかもしれない。◆時代と共に変化したのは目に見える環境だけではなく、私達日本人の内面という見えない部分にもあるのではないかと。官も民もなく国全体で社会を揺るがす事件や出来事が底無しに発生している。かかる重要性も気に留めない。何が大切なのかという価値観が変わってきたのだろう。経済的に成功した戦後の復興も、その反面、失ってしまったものも多いのではないかと。そんな

ところにこの国が壊れゆく要因を感じる。◆このような社会背景から、昨年、日本青年会議所は、次代を担う子ども達に確かな歴史を伝えることを目的として、DVDアニメ「誇り」を製作した。衆議院教育再生特別委員会で共産党から批判的な質問があったり、良くないことだと主張する番組が放映されたりして、その内容を問題視する議論が起こっている。誤解されている部分もあると思うが、いずれ

にしてもこのような盛り上がりに影響して、少しでも多くの人にそのアニメを見ていただければ嬉しいことだ。歴史を見つめ直し教育というものを考える機会になればそれはそれでもいいのだろう。◆内閣も教育の基本にさかのぼった改革を推進しようと、教育再生会議を設置して教育の再生を図ろうとしている。教育は国家百年の計。他国から尊敬され、自国に誇りを持てる。そんな日本でありたいと思う。



子どもが笑顔になれることを、
親と一緒に
見つけてやって欲しい！

如水館高等学校野球部の迫田監督



特別対談

子どもの将来を最良にするためには、
自分の立場を主張し他人任せにするのではなく、お互いに歩み寄ることが重要！



(社)三原青年会議所 渡辺理事長

● 今の子どもに感じること

理事長 30年もの間、高校野球と共に歩んでこれ、常にその時代の生徒と接している中で、今の子どもたちにどんなことを感じますか。

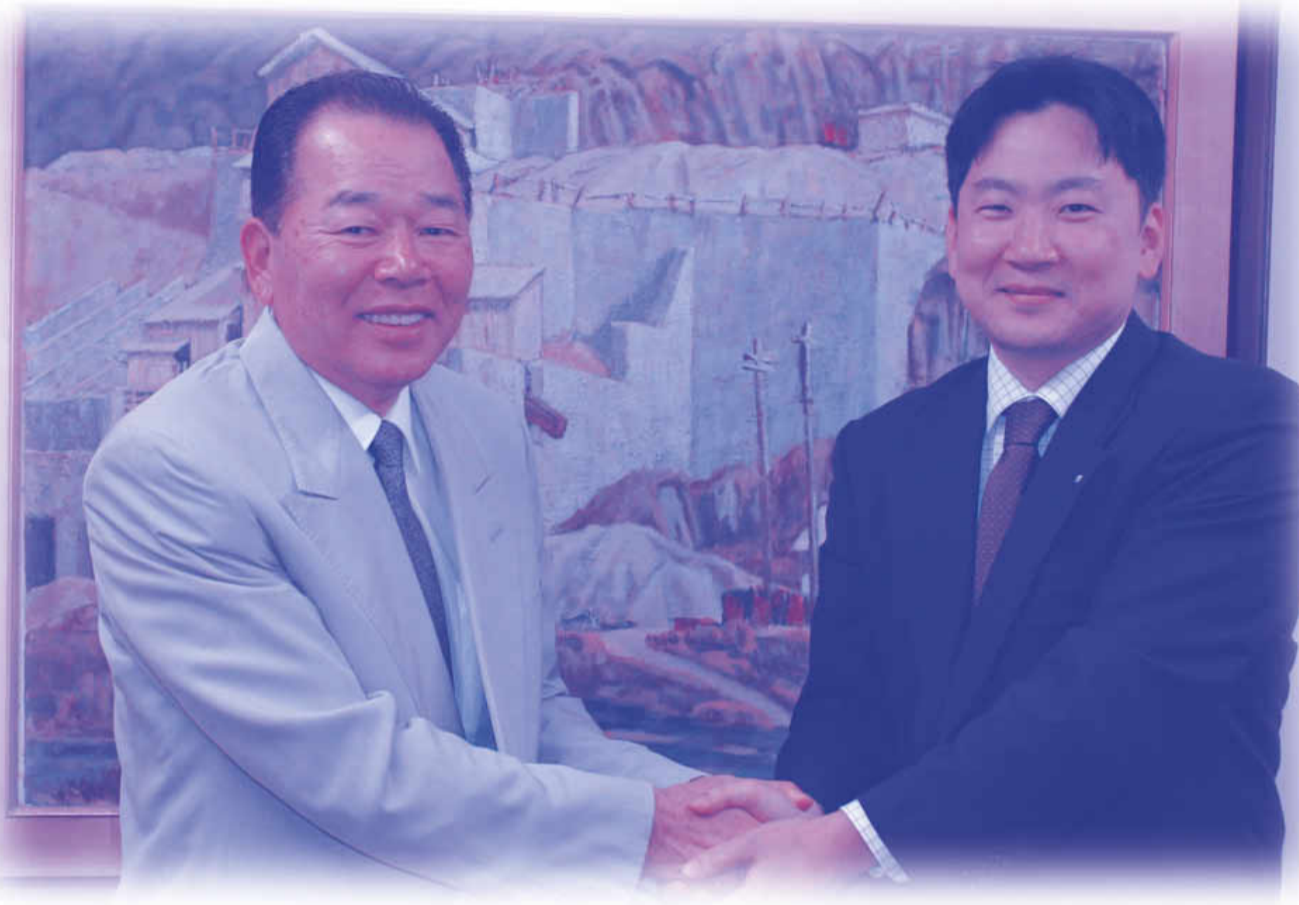
迫田監督 極端にいい方をすれば、今の子は笑わなくなったと感じます。そのせいでウイंकができないなど顔の筋力も弱っていると聞いたことがあります。クールといえば格好が良いかもしれませんが、表情豊かに喜怒哀楽を出せる子どもが少なくなったと思います。それは今の家庭に笑顔が少ないことが大きな要因のひとつであると感じます。

理事長 今の子どもは体力が落ちたとよく言われますが。

迫田監督 今の小学生の1日の歩く量は10,000歩で、30年前は27,000歩だったと聞いたことがあります。そういった意味では体力が落ちて当然だと思います。今の子どもを公園に連れて行っても遊ぶ体力が無いといえますからね。かつて王選手、長嶋選手がすごかったのは、練習に耐えられる体力を持っていたからではないでしょうか。

理事長 他にどんな違いを感じられますか。

迫田監督 私が子どもの頃は、貧しい家も多く、食べるものが無かったので、いろんなものを食べました。だから食べられることに感謝もしていました。今は飽食の時代で、食に対する感謝の気持ちが薄れているように感じます。



● 今と昔とで異なる指導方法

迫田監督 生徒と長年接してきて、最近特に感じることは「私自身の指導方法も時代にに応じて変えてゆかなければならない」ということです。ほとんどの監督は子どもを握ろう(支配しよう)とする傾向があり、自分の思い通りに動かそうとしているのです。昔はそれで良かったのですが今の時代は、それでは勝てないと感じ始めました。

理事長 広商時代、選手としても監督としても甲子園で全国制覇され、勝つための練習・指導方法は完全にマスターされ、如水館高校監督としても幾度も甲子園へ出場されている中で、指導方法を変えようと思われたきっかけは何ですか。

迫田監督 全日本選抜チームの監督をさせていただいたときに、全国レベルの生徒と共に過ごしたことで考え方が大きく変わりました。「監督の考えている以上のことを選手が考

え、行動しなくては勝てない！」ということでした。つまり監督が教えるだけでは限界があり、選手が発想しながら動くことが大事なのです。そして全国の様々な高校を見学させていただいている中、特に駒大苫小牧には驚かされました。

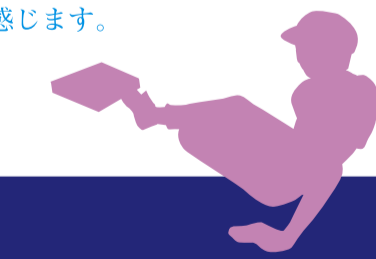
理事長 昨年の甲子園決勝では特に注目を浴びましたが、その翌年と翌々年には優勝している実績もあります。気象の関係もあり、東北・北海道は絶対不利といわれていた中でここまで急成長した裏側にはどんな秘策があったのでしょうか。

迫田監督 彼らは雪の中でもグラウンドを除雪して練習していました。気温も低く2時間が限界です。一般では不利と思える状況が精神力と集中力の向上に役立っているのかもしれない。さらに驚いたのは選手同士で考えさせるためにグラウンド上では先輩と後輩の棒を超え「それがいい」「あれが悪い」などと指摘しあい、選

手同士で練習していたことです。そういった練習ができるようになってから、いい意味で選手が監督にも意見できる関係が出来上がり、成績も上がってきたそうです。

理事長 厳しい上下関係が身につけていることが前提でできることなのでしょうね。やり方を一歩間違えれば、先輩も後輩も無く統制の取れない乱れたチームになると思います。また勝つためには、技術だけでなく精神力や集中力といった気持ちの部分の部分が大切なのですね。

迫田監督 バ・リーグで育った選手の方がセ・リーグの選手より、大リーグで活躍する人が多いといえます。ただの偶然ではなく偏見かもしれませんが、人気の無いリーグを盛り立てようと頑張っている精神力が要因ではないかとも感じます。



● 野球を通しての教育

理事長 野球はチームプレーであり、助け合い、エラーなどの失敗をフォローしあうことでコミュニケーションを取りながら大きく学び育っていくものだと考えます。そしてそれは野球にかぎらず、すべてのクラブ活動をはじめとした団体行動で学んでゆくことだと思います。しかし、親の気持ちはそうではなく技術の上達を希望しているように感じます。

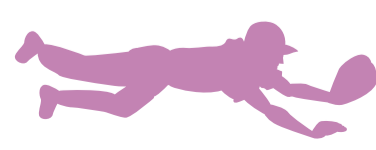
迫田監督 確かに親は自分の子どもを第2のイチロー選手や松井秀喜選手にさせ

たくて野球部に入れてくるのです。しかしそれが無理だと感じると、冷めてしまう場合が多いのです。また選手みんながベンチ入りできるよう頑張っている中、当然頑張っても選ばれない場合が出てきます。そのことでむしろ精神的に強くなると思います。一生懸命やったのであれば、目標が達成できなくても多くのことを学べます。

理事長 野球を通して多くのことを学んでありますか。

迫田監督 野球を通して学んだことを糧に、皆無理だと感じると、冷めてしまう場合が多いのです。また選手みんながベンチ入りできるよう頑張っている中、当然頑張っても選ばれない場合が出てきます。そのことでむしろ精神的に強くなると思います。一生懸命やったのであれば、目標が達成できなくても多くのことを学べます。

理事長 野球を通して多くのことを学んでありますか。



● 父親の存在

迫田監督 父親の権威はなくなった。父親が子どもに嫌われないためにとかいう理由で叱れないとも聞きます。殴ることがいいことだとは言いませんが、子どもが悪い方向に進もうとしていたら、体を張って真剣に叱ることが重要なのだと思います。

理事長 言葉で説明しても分からない子どもには、愛を持って叩くことは必要であると私も感じます。私も小さい頃はそうやってしつけられましたが、叩かれなくて分かっていれればやりたい放題だったと思います。

迫田監督 また、最近特に感じることは、母親が父親のことを悪く言う家庭が多くなったことです。そういった家庭でいい教育ができるわけがありません。子どもは見下されている人間からの注意を聞きません。これは家庭と学校の関係にも同じことが言えると思います。

● 親や地域の大人はもっと子どもに愛情を注ぐべきでは

理事長 最近ではPTAに積極的に参加しない親が多いと感じます。自分が楽をしようとしているのではないと思いますが、我が子だけよければいいと考える親が増えたのでは感じます。我が子の成長のために一生懸命になるだけでなく、他人の子を自分の子どもと同じように真剣に叱ってやれ、また一緒に喜んであげられる関係が必要だと考えます。

迫田監督 昔は寿命が短かったうえ、一家に子どもが多かった。そのために末っ子が大人になる頃には親が亡くなっている場合も多かったため、親は子が早く強く成長できるように必死だったと思います。これは一家の中だけでなく、まちぐるみで子どもを育てていたのだと思います。

理事長 かつて親に足りない部分を祖父母が、家庭に足りない部分を学校、地域がという風に、家庭と学校と地域の三者で子どもを見守り育ててきたと思いますが、現代では核家族化やひとり親などの問題で子どもが大人と接する時間が激減していることや、地域では昔という「カミナリおやじ」や「おせっかいおばさん」

がいなくなったことで、それぞれの役割ができなくなったと考えます。家庭と学校についてはどのように感じますか。

迫田監督 家庭がすべき躰や地域で学ぶべき自然とのふれあいにしても学校がかなりの比率で背負われているようにも感じます。さらに今は学校に対し不信感を持っている家庭が多くなったと思います。昔は家庭が学校を信頼していたからこそ「先生の言うことをよく聞きなさい」と教えられていましたが、今はそうではありません。

理事長 例えば「叩く」行為に対しても学校を信頼していれば「教育してくれてありがとう」ですが、そうでなければ「暴力だ、虐待だ」という態度になるでしょう。結局は子どもの将来のことを真剣に考え叱ることは必要なことであり、親が学校を信頼していないのに家庭が「学校で教育してくれ」というのは矛盾している。学校としても「躰は家庭でしてくれ」と言わざるを得ないと思います。我々の目標とするところは、お互いが批判しあうのではなく、すべては子どもの成長のためなので、お互いが歩み寄り協

力することが重要だと考えます。本日はお忙しい中、いろいろとお話をいただきありがとうございます。

● 最後に

過去から現在にわたり高校野球部員と接していらっしゃる監督のお話を聞くことができました。その中で決して特別なことをしているのではなく、家庭、学校、地域がお互いの立場を尊重し、行動してゆくことが今後の教育問題解決の活路であると確信いたしました。また我々(社)三原青年会議所でも子どもたちに夢・目標を持って頑張ることの意義、そしてその先にある明るい未来を感じてもらえるような事業を行ってゆく予定です。すべては三原の明るい未来のために、市民の皆様にも今後ともご理解、ご協力をお願い申し上げます。

本日 **6月25日(月)** 開催!! **★ 入場無料**

(社)三原青年会議所創立45周年記念事業

島田洋七講演会開催!!

「笑顔が未来を切り開く!!」
～幸せは、こころのあり方で決まるんだ!～



時間：開場 18:00
講演 19:00～20:30

当日18:00より 入場券配布(先着順)

場所：三原リージョンプラザ文化ホール
定員400名

主催：(社)三原青年会議所
後援：三原市教育委員会

※無料駐車場が無い為、有料駐車場を利用されるか、公共の交通機関等でお越しください。

5月例会開催

強い営業部隊をつくれ!!

拡大・研修委員会(井上尚彦委員長)は去る5月21日(月)三原国際ホテルにおいて「強い営業部隊をつくれ!」～売れない時代に確実に売上・利益アップする「必勝ノウハウと実践法」とは!～と題し、5月例会を開催しました。今例会では講師として山口真一氏(ヒューマン・クリエイティブ・コンサルティング 所長)をお招きし、顧客の要望にどのように対応すれば満足をいただき、選ばれる強い営業ができるのか、具体的な事例を通して講演していただきました。

攻めの「お役立ち営業」に変革せよ!

お役立ち提案営業とは課題解決で、顧客満足と自社の利益拡大を行うこと

- 手順1** (情報収集) 究極の情報通!
顧客の「信頼」獲得へのお役立ち情報づくり
- 手順2** (ニーズ把握) 究極の聞き上手!
初回面談時に「悩み・課題・ご要望」をお聞かせいただく
- 手順3** (プレゼン) お役立ち提案のプロ!
顧客の期待を上回る「サプライズ提案」にて受注獲得
- 手順4** (事後活動) 究極のアフターフォロー
受注後フォローで「価値」認められ、さらに「強い信頼獲得」
- 手順5** (固定客化) 究極のファン客づくり
お役立ち継続で「ファン客化」(真のパートナーへ)



山口講師



例会風景

会員旅行開催!

交流委員会(檜山泰三委員長)は去る5月12日(土)・13日(日)に「四国制覇 WAI-WAI行こうわい!」をキャッチフレーズに、会員旅行を開催いたしました。当日は多くのメンバーが参加し、1泊2日の時間を会員同志で共有し交流と親睦を深めることができました。



日ごろ経験できない「うどん打ち」や「ラフティング」も体験!

うどん打ち



ラフティング

上記のような企業経営に活かせるセミナーや、会員旅行も行っています。興味のある方は見学もできますのでご連絡下さい。

やさ祭りコーナー

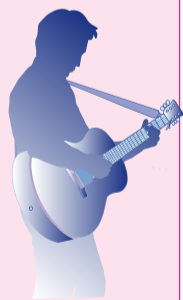


出場者大募集!



募集要項 やっさアンソング2007 ～アコースティックライブバトル～

- 開催日時** 2007年8月12日(日) 12:30開演
開催場所 JR三原駅前 やっさ祭りメインステージ
応募資格 ○楽曲のジャンルは問いません
○原則としてアコースティックを中心とした編成である事
○原則としてオリジナル2曲(コピーの場合はその旨を記載下さい。)
○当日出場が可能なアマチュアが対象。
参加者の年齢・国籍・性別は問いません。
- 申込** 以下の3点を同封の上、郵送にて申し込み下さい。
①申込書(所定の申込書に必要事項を記入ください)
②MD (演奏1曲を収録し、曲名・演奏者名を明記)
③写真
- 募集期間** 2007年7月31日(火) 必着
一次審査 8月2日(木) 一次選考(非公開)
審査員 メジャーレコード会社(3社)制作部プロデューサー・ディレクター
スペシャルゲスト サンタラ



募集要項 YASSA DANCE BATTLE 2007

- 開催日時** 2007年8月12日(日) 16:00開演
ゲストライブも行います。(アクターズスクール広島)
開催場所 JR三原駅前 やっさ祭りメインステージ
人数 2名以上のチーム
年齢 小学生以上(小・中学生は保護者の同意が必要)
募集期間 2007年7月15日(日) 必着
一次審査 書類審査の上出場12チームを決定します。
申込 応募用紙にご記入の上、写真(出演時の衣装で撮影したもの)を同封し郵送にてお申し込み下さい。ホームページからも応募できます。(応募用紙はやっさ祭り実行委員会事務局にもあります)



応募先 〒723-8555 広島県三原市皆実4-8-1 三原商工会議所内
やっさ祭り実行委員会 事務局 担当 森山まで
TEL 0848-62-6155 FAX 0848-62-5900
申込書は、「やっさ祭りホームページ」よりダウンロードが可能です。

詳しくはやっさ祭りホームページ(<http://www.yassa.net/>)をご覧ください

やさもっさ 伝言板

「ちょっと一言」投稿募集

みなさんの投稿を募集しています。特に、まちづくりへのご意見・ご感想をぜひともお聞かせください。

モニター募集

多くの皆様より協賛金をいただき、皆様とともに発行しているこちらの青年会議所新聞やさもっさ。良い紙面作りのためにモニターになってご意見を聞かせていただけないか? 毎月の簡単なアンケートを中心に実施いたします。

すべてのお問い合わせ投稿先は...

(社)三原青年会議所

〒723-0052 三原市皆実4-8-1 三原商工会議所内
TEL:(0848) 63-3515 / FAX: 62-1141

Eメール info@mihara-jc.com
HP <http://mihara-jc.com>
「やさもっさ」ホームページ
<http://www.mihara-jc.com/y-mossa.htm>
■発行元 (社)三原青年会議所
■編集 広報委員会



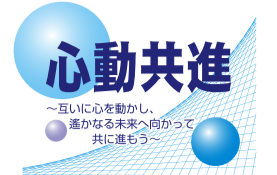
← 携帯の方は、こちらからお問い合わせ下さい。

やさもっさ TV

今月号の放送予定日(三原テレビ放送)

	6/26日	27日	28日	29日	30日	7/1日
7:30		○	○	○	○	
9:30		○	○	○	○	
12:30		○	○	○	○	
18:15	○	○	○	○		
22:30	○	○	○	○		
24:30					○	○

MCAT



2007年7月25日 Vol.348



「三・色・感」事業
第二弾!!

みはら

TEPPAN倶楽部

始動!

～三原のお好み焼きを地域ブランドへ～

本年度、協働委員会(作田 佳史 委員長)では、三原の特色(食)を市民・企業・行政が協働での活動により、まちの特色を活かして、三原市の一体感を高めてゆくために「三(さん)・色(しょく)・感(かん)」というテーマを掲げ活動しております。

第一弾では「地産地消」をキーワードとして協働でまちづくりを実践されている講師をお招きし、講演をして頂きました。今回、第二弾として「三(さん)・色(しょく)・感(かん)」を実践してゆくために、市民の皆様身近な食べ物であり、地域色豊かな食の一つでもある「三原のお好み焼き」に注目し、それを市民・企業・行政の三者で盛り上げてゆこうと考え、～三原のお好み焼きを地域ブランドへ～と題し「みはらTEPPAN(てっぱん)倶楽部(くらぶ)」を発足いたしました。

先日6月27日に開催した準備会議では、市民・企業・行政や市内のお好み焼き屋などの関係者12名が集まり、この会の趣旨や今後の計画等、様々な立場の意見を交換しながら和やかな雰囲気の中で話し合いをすることが出来ました。

今後も三原のお好み焼きを地域ブランドにしてゆく為に、11月に開催される浮城祭り等へのイベント参加も視野に入れ、月一回程度のミーティングを開催し「地域ブランド」へ発展させてゆく為に活動してゆこうと考えておりますので、興味のある方は是非参加して下さい。

皆様のちからで私たちの住むまち"みはら"を盛り上げてゆきましょう!



みはらTEPPAN倶楽部 準備会議

■お問い合わせ■ (社)三原青年会議所 協働委員会 作田まで

(社)三原青年会議所 創立45周年記念事業

島田洋七講演会開催!!

「笑顔が未来を切り拓く!!」 ～幸せは、こころのあり方で決まるんだ!～

本年度、(社)三原青年会議所は創立45周年を迎えました。日頃より、私たちの活動を支えていただいている市民の皆様への感謝の意を表す記念事業として、6月25日(月)、島田洋七講演会を開催し、約800名もの方々にご来場いただきました。

開催当日、講師の島田洋七氏は風邪気味で少々体調が優れなかったようですが、そこはさすが一流のお笑い芸人!90分間笑いの絶えることのない講演となりました。多感な少年期に不安を抱えながらも「佐賀のがばいばあちゃん」と共に過ごしたことで学んだことを、語っていただきました。



島田 洋七氏



観覧風景



講演前、青年会議所メンバーの最終打合せ



開演前風景



講演風景

御礼



講崎部会長

講演会終了後、ご来場いただいた市民の皆様より感謝の言葉をいただきました。今回の講演会のテーマ「笑顔が未来を切り拓く!!」をご理解いただき、さらに、市民の皆様が未来への可能性を感じ、明るい豊かな心を持つ人、家庭、まちを創るきっかけとなったのではないかと考えております。今後も三原が明るい豊かなまちになることを目指してまいりますので、尚一層のご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

みたかきいたか

もうすぐ三原市で一番盛り上がる季節がやってくる。そう、言わずと知れた「やっさ祭り」だ。今年で32回を数えるこの祭りは、中国地方最大の夏祭りといわれ毎年30万人を超える観客動員がある。◆昨年、徳島の「阿波踊り」を見物に行った時に驚いた

ことがあった。100万人はいるかと思われる会場に、スタッフの人数が非常に少ないにも関わらず、各会場でスムーズに踊りが流れていたことだ。言い換えれば、踊り手も運営側と共に祭りを創ってゆくという意識の表れではないのだろうか。まさに全国区の祭りとなった要因を垣間見た瞬間だった。◆我がまちの「やっさ祭り」に目を向け

てみるとどうだろうか。裸同然で踊る者、酔っ払って踊る者、スタッフの指示に従わない者、挙げればきりが無いほど浮かぶ。子ども達の参加も危険すぎて敬遠している要因のひとつだと感じる。やっさ踊りを練習し、運動会等で披露している学校が多いと聞くと、現実には学校単位、町内会単位での参加は減少傾向にあるなど、今後不安

を感じてならない。◆「三原ブランド」＝「やっさ祭り」が全国区となってゆく近道だとすれば、運営側と踊り手、そして観客が一体となって創りあげてゆかなければ叶わぬ夢に過ぎないだろう。住民が主体となって我がまちの進むべき道を真剣に議論し、未来を担う子どもたちの為に今一度立ち上げる必要があるのではないかと。

6月例会開催

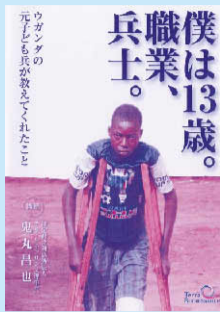
まず第一歩を踏み出そう!

拡大・研修委員会(井上尚彦委員長)は去る6月19日(火)三原国際ホテルにおいて～組織の社会的責任を果たす「一歩」を踏み出すために～と題し、講師に鬼丸昌也氏をお招きし、6月例会を開催しました。

組織を牽引する者として、事業を通じての、またその枠を超えた社会貢献を知識として理解するだけでなく実際に行動に移さなければその責任は果たせません。行動に移すためには何が必要なのかを講師の特異な実体験を基に感じることができました。

講師プロフィール

おに まる まさ や
鬼丸昌也氏



2002年 (社)日本青年会議所
人間力大賞受賞
著書: ぼくは13歳 職業、兵士
(合同出版)
テラ・ルネッサンス
<http://www.terra-r.jp>



高校在学中にアリヤラトネ博士(スリランカの農村開発指導者)と出会い、「すべての人に未来を造り出す力がある」と教えられる。2001年カンボジアを訪れ、地雷被害の問題を知り、多くの人に伝えるための講演活動を始める。「全ての生命が安心して生活できる社会の実現」をめざす「テラ・ルネッサンス」設立。カンボジアでの地雷除去支援・義肢装具士の育成、日本国内での平和理解教育、ウガンダ北部での子ども兵の実態調査、小型武器の不法取引規制に関するキャンペーンなどを実施。2005年よりウガンダ北部での元・子ども兵の自立支援事業を開始する。

第32回三原やっさ祭りインフォメーション

期日: 8月10日(金) 踊り 11日(土) 踊り 12日(日) 花火
場所: JR三原駅を中心に市内一帯

8月10日(金)

16:00~16:30 やっさ太鼓
16:30~17:00 如水館チアリーディング
17:00~18:00 ものまねオンステージ
しのぶちゃん&ダンシング谷村



19:00~22:00 創作やっさ・やっさ踊り

8月11日(土)

11:00~11:30 創作やっさ踊り みたか連
14:30~15:00 ヒップホップ&ジャズダンス
スタジオ来夢
15:30~16:00 子供太鼓
西田幼稚園
16:00~16:30 地域芸能
安芸本郷太鼓
17:00~17:30 お笑いライブ
まちゃまちゃ
ボールボーイ
17:30~18:30 尾道ベッチャー太鼓
18:30~22:00 やっさ踊り



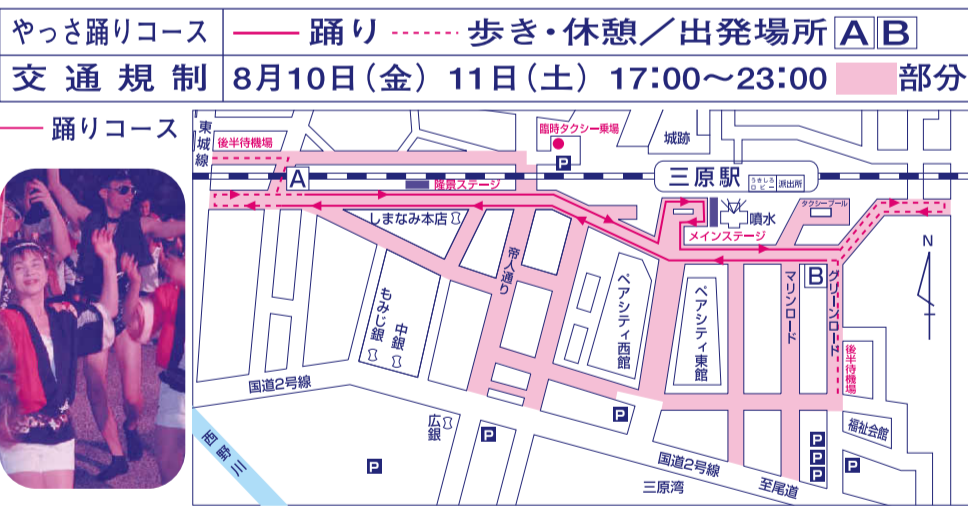
8月12日(日)

11:30~12:00 獣拳戦隊ゲキレンジャー(観覧無料)
12:30~15:30 やっさアンプラグド2007
~アコースティックライブバトル~
14:40~15:10 サンタラ(アンプラグドゲストライブ)



16:00~18:00 YASSA DANCE BATTEL 2007
17:10~17:40 アクターズスクール広島オンステージ
20:00~21:00 花火フェスタ

やっさ踊り交通規制&踊りコース

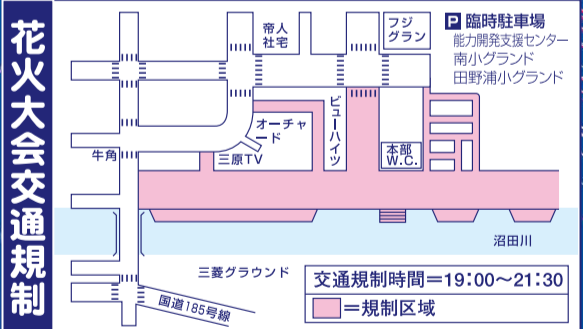


やっさ祭りに関するお問い合わせ先

〒723-8555 三原市皆実4丁目8-1
三原商工会議所内 三原やっさ祭り実行委員会事務局
TEL:(0848)62-6155 FAX 62-5900

花火フェスタ

8月12日(日) 20:00~21:00
約5,000発の大花火大会



やっさもっさも言板

「ちょっと一言」投稿募集

みなさんの投稿を募集しています。特に、まちづくりへのご意見・ご感想をぜひともお聞かせください。

モニター募集

多くの皆様より協賛金をいただき、皆様とともに発行しているこちらの青年会議所新聞やっさもっさも。良い紙面作りのためにモニターになってご意見を聞かせていただけませんか? 毎月の簡単なアンケートを中心に実施いたします。

すべてのお問い合わせ・投稿先は…

(社)三原青年会議所

〒723-0052 三原市皆実4-8-1 三原商工会議所内
TEL:(0848)63-3515 / FAX:62-1141

Eメール info@mihara-jc.com
HP <http://mihara-jc.com>
「やっさもっさも」ホームページ
<http://www.mihara-jc.com/y-mossa.htm>
発行元 (社)三原青年会議所
編集 広報委員会



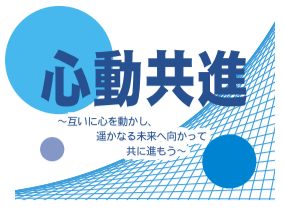
← 携帯の方は、こちらからお問い合わせ下さい。

やっさもっさもTV

今月号の放送予定日(三原テレビ放送)

	7/31日	8/1日	2日	3日	4日	5日
8:00		○	○	○	○	
9:30			○	○	○	
17:00					○	
20:30	○	○	○	○		○
22:30	○	○	○	○		
24:30					○	○

MCAT



2007年8月25日 Vol.349

みたか きいたか♪ 浮城物語 2007

第32回 三原やっさ祭り 開催!



やっさ踊り入賞チーム紹介

3年連続!!

- 土曜日**
- 優勝「やっさ大賞」 三原市医師会病院
 - 準優勝「準やっさ大賞」 特定医療法人 大慈会 三原病院



- 3位 実行委員会賞 三原市役所
- 4位 和田町 やっさ会
- 5位 白竜やっさの会
- 6位 三原高校 (柏葉っ子)
- 7位 西小踊ろう会
- 8位 共住版宅配グループ
- 9位 久井町江木区 やっさ会
- 10位 (株)DNPプレジジョンデバイス
- 町内会大賞 和田町 やっさ会
- 子どもやっさ大賞 西小踊ろう会
- 子どもやっさ賞 糸崎小ふれあいチーム
- キラリ賞 港町子ども会
- スマイル賞 三原小4年 レインボー隊

金曜日 創作大賞 みたか連

創作やっさ賞 お祭りスタジオアイ・ウィル土居写場
新人賞 TANE' NDS

第32回 三原やっさ祭り 実行委員長よりご挨拶

来年もやっさ祭り いくぞー!



第32回 三原やっさ祭り実行委員会 実行委員長 平野 裕輔

第32回三原やっさ祭りを、8月10・11・12日の3日間、無事盛大に開催することが出来ました。これもひとえに市民の皆様をはじめ関係各位の絶大なるご協力・ご尽力いただいた賜物と、深く感謝いたしております。

本年度は3日間通して天候にも恵まれ、30万人を超える多くの観客の皆さんに「三原やっさ踊り」、そして「やっさ花火フェスタ」を楽しんでいただき、素晴らしい「三原やっさ祭り」が開催できたことを、実行委員会を代表致しまして心より厚く御礼申し上げます。



本年度第32回三原やっさ祭りのキャンペーンテーマは「みたかきいたか♪浮城物語2007」でした。みたかきいたか、の「観る」という観点から、本年度は踊りコースの抜本的な見直しをはかったと共に、レッドカーペットを敷いての隆景ステージの設置、創作やっさ部門設立など、総合的な踊りのレベルアップをはかり、踊り手だけではなく同時に観客が楽しめる祭りを目指しました。そして、みたかきいたか、の「聴く」という観点から「三原やっさ踊り唄」そして「ダンスリミックス」をレコーディングしてのCD発売、会場内のスピーカーの変更や、携帯電話での着信音化などにも取り組みました。

そして、やっさ祭りにボラティアとして運営にご協力いただいた、たくさんの皆様の努力によって、私たちの祖先が440年もの長い間大切にしてきた“やっさ踊り”をしっかりと継承し、伝統ある“踊り”を軸にしながら、踊り手と観客が共鳴しあい、一体感と感動を実感していただけるような「やっさ祭り」となったものと自負しております。

最後になりますが、今後とも三原やっさ祭り実行委員会に対しまして、皆様方の一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます、お礼の言葉とさせていただきます。

第32回 やっさ祭り実行委員会メンバー

役職	氏名	所属	役職	氏名	所属
実行委員長	平野 裕輔	(社)三原青年会議所	やっさグッズ委員長	澤井 清子	三原市女性会連合会
副実行委員長	小玉 弘尊	三原市観光文化課	花火委員長	隅本 秀明	三原商工会議所
	中川 正巳	(社)三原観光協会	屋台村委員長	長尾 正	広島県飲食業生活衛生同業組合
	谷口 邦夫	三原市商栄会連合会	ステージ委員長	徳永 素久	三原やっさ祭り協賛行事連絡協議会
	藤原 聖士	三原商工会議所	協賛行事委員長	安田 佳宏	三原やっさ祭り協賛行事連絡協議会
	藤井 正教	三原やっさ祭り協賛行事連絡協議会	アドバイザー	今田 毅	三原やっさ踊り振興協議会
人にやさしい祭り委員長	岡田 真理	三原市社会福祉協議会		熊谷 貞和	三原やっさ踊り振興協議会
やっさ踊り委員長	佐藤 協二	(社)三原青年会議所	事務局長	松葉 弘	(社)三原青年会議所
安全対策委員長	小林 正典	(社)三原青年会議所	事務局次長	三好 慎一	(社)三原青年会議所
みたかきいたか委員	安藤 志保	ネットワークみどりのはらっぱ	セクレタリー	富田 伸博	(社)三原青年会議所
宣伝広報委員長	山本 隆司	(社)三原観光協会		花田 章浩	(社)三原青年会議所



みたかきいたか

日本の歴史について私たちはどれだけの事を知っているのだろうか？私は学生時代不思議に思ったことがある。歴史は好きな方だったが、いつもある年代になると疑問に感じていた。それは、近現代の歴史になるとブラインドに隠されているのかの様に見え

ない部分が多くなっていくことだ。◆中国政府が激しく批判している靖国参拝、南京大虐殺、慰安婦問題等、私たちの歴史の一部であるにもかかわらず、マスメディアで報道されて、そうなの？そうなんだ？と感じること自体、私たちは自分の住む国の歴史を勉強していない(知らない)ことに気付かされる。◆日本が戦争をす

る事になった理由や、戦争をした事で日本がどのような事をしてきたのか等、若い世代の私たちは、真実を答えることができないであろう。国際社会になるにつれ、まずは、私たちの住む国の歴史をしっかりと知ることが必要な時代になってきているといえる。◆テストに出題される事だけ勉強すれば良いわけではない「国家100年の

計は教育にあり」と言われるほど教育は大切なことから、今一度、敗戦後、占領下で作られた教育基本法を見直し、真の教育を考えてほしい。◆今年で、戦後62年経つが、戦争を繰り返さないためにも、我々若い世代が歴史を再確認し、次の世代の子ども達へと伝えてゆきたい。

第32回
~写真でふり返る~
三原やっさ祭り

ま
さ
ま
ま
ま



エコレンジャー



2007 三原ミスやっさ



審査席



ゴミ掃除



スタッフ打ち合わせ



花火



個人審査席



踊り本部



如水チアリーディング
子ども体験



やっさメモリーズ 2007

- ① 集合写真
- ② 練習風景
- ③ キャラバン風景
- ④ 本郷夏祭りにて
- ⑤ ⑥ やっさ祭り当日



YASSA DANCE BATTLE 2007

優勝 **REBECCA**

準優勝: LOOPS 3位: SCOOP

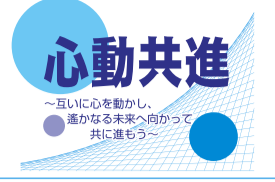


アンプラグド 2007

優勝 **本家熊野屋**

準優勝: KIDDIE BE 3位: 橘高優士





2007年9月25日 Vol.350



MIHARA ANNIVERSARY



(社)三原青年会議所 共育事業

後援:三原市教育委員会 三原商工会議所

今村克彦講演会&今村組よさこいLIVE IN 三原

10/8(月)祝日
リージョンプラザにて!
参加費無料

子どもたちへ 夢と勇気を
大人たちへ 情熱を

今村克彦が叫ぶ!

子どもらの本当の気持ち 分かったってや!



ただひたすら一生懸命に子どもと向き合ってきた教師と、道に迷い遠周りをしつつ、ついに目標を見つけ一生懸命生きる子どもたち! この感動の物語を体験してください。皆様のご来場をお待ちしております。このまちの未来を担う子どもたちのために。

12:00 開場・受付	12:30 第一部 文化ホール 今村克彦&今村組 LIVE&TALK 「情熱先生と子どもたちの感動物語」 今村組よさこい踊り・今村氏&今村組メンバーによるトーク・ライブ等。 様々な問題を抱え道に迷った子どもたちが、今村先生に出会い、希望を見つけ歩き出し、「札幌よさこい祭り」2年連続ファイナル進出まで果たした、見応えの踊りと感動の物語を体験ください。 対象/大人・子ども 定員/400名	13:40 休憩	14:00 第二部 (いずれか1つお選びください) 文化ホール 今村克彦講演会 「子どもが“いい子”でいたいと思う大人になれ」 教師として、真剣に必死に子どもたちと向き合い、導いて来た情熱と経験談、また子どもにとって理想の大人とは、といった教育論をお話しいたします。 対象/大人 定員/400名	南館2F和室 今村組しゃべり場 「今村組と語り合う青春」 今村組メンバーがそれぞれ問題を抱えつつ未来を目指して乗り越えてきた話を聞き、また皆さんが抱える問題を乗り越えるために語り合います。 対象/子ども(中〜大学生) 定員/70名	屋外広場 今村組踊り体験会 「一緒に踊ろう、楽しもう」 よさこい踊りの体験会を通して、みんなで踊ることの楽しさを感じて下さい。多くのメンバーでサポートしますので一緒に踊って楽しみましょう。 対象/子ども(高校生以下) 定員/200名	15:00 終了
	12:00 開場・受付		14:00 第二部 (いずれか1つお選びください)	15:00 終了		

今村克彦とは
様々な不満や悩みや傷を持ち、道を見失った子どもたちを、誰よりも真剣に理解し向き合い導いてきた元小学校教師。

関西京都今村組とは
今村先生の元教え子が中心となり結成された、よさこい踊りチーム。そこには様々な問題を抱えた子どもたちも希望を求めて集まり、踊りを通して前を向いて一生懸命生きなおしている。

申込方法
電話又はFAXによる事前申込とさせていただきます。
電話の場合は参加者全員のお名前、年齢、電話番号、参加したい第二部の希望イベントをお伝えください。
FAXの場合はお名前、年齢、電話番号、参加したい第二部の希望イベントを明記して送信してください。(折り返しお電話させていただきます。申込完了とさせていただきます。(注)当日、受付にてお名前と年齢を本人確認させていただきます。【定員に満たない場合、当日受付も行います】)

申込・問合せ先
(社)三原青年会議所事務局(三原市皆実4-8-1 三原商工会議所内)
TEL/0848-63-3515 FAX/0848-62-1141 受付時間/平日10:00~17:00
(留守の場合は申し訳ありませんが、しばらくたってからおかけ直しいただくか、FAXにてご連絡ください。)

みはら TEPPAN倶楽部 ミーティング開催

本年度協働委員会では、三原の「食」を通じたまちづくりを目指し「三・食・感」をテーマに活動しております。皆様に親しまれている「三原のお好み焼き」に着目し、市民(大学生を含む)企業(お好み焼き店)行政の方々に参加していただき「みはらTEPPAN倶楽部」を立ち上げました。

2回目のミーティングをむかえ、参加者同士も親しくなり、参加した23名で賑やかに開催し「三原のお好み焼きを盛り上げてゆくためには?」というテーマで意見交換をしました。意見の中には、市内のイベントへの参加や、お好み焼きマップの作成、なかにはお好み焼きスタンプラリーの企画等の意見があり、外部へのPRというよりも、まずは三原

市内の方々に自分たちのまちを知っていただくことが必要では?という意見も多かったように感じました。次回はこれらの意見を踏まえ、これから三原市内で行われるイベントへの参加等を企画し、実行してゆくためのミーティングを開催致しますので、三原のまちを元気にしたい!自分も参加してみたい!と思われる方は是非お問合せください。

三原青年会議所は、この活動をひとつのきっかけとして「三原の活性化」を皆様と一緒に考えてゆきたいと考えます。みなさんのご支援・ご協力を宜しくお願い致します。
(協働委員会 委員長:作田佳史)



第2回ミーティング風景

みたかきいたか
「私みたいな女性が近くにいると貴方はきっと楽しいわ…」これは、故・夏目雅子さんが結婚する際のプロポーズの台詞。女性からのプロポーズは芸能人にとどまらず、私の周辺においてもゆるやかな増加傾向にあるように感じられる。◆男性からプロポーズはするべきものか否か、そういった問題をここで語るつもりはないが、男女が尊重しあう社会づくりを目指す「男女共同参画」が推進されつつある今、女性からのプロポーズがじわり浸透してゆく様は、時代の推移を感じると共に、好ましく思える。

◆新聞報道によると、7月29日に三原市が行ったアンケートで「協働」という言葉を三原市民の約6割の人が「知らない」と答えた。「協働」という言葉の一般的な概念は、例えば地域の課題解決に向けて、行政単独、または市民だけでは解決しにくい問題などがある場合に、互いに協力しあい補完し、その課題を解決してゆくことである。◆現在の行政は市民に対して閉鎖的なものではなく、むしろ市民との協働を望んでいるとも言える。行政と市民、まずは身近な素材で気軽に「協働しながら」まちづくりに参加し、その楽しさと充実感を体感してもらおうことが「協働のまちづくり」を拡大してゆくひとつの鍵なのかもしれない。

◆今、我々市民は行政から「協働のまちづくりを推進しよう」とプロポーズされている。女性から男性に気軽にプロポーズできる今の世の中、我々市民も「心から喜んでお受けします」と、笑顔でプロポーズに答える時が来たのではないだろうか。

2008年度(社)三原青年会議所 理事・役員決定

2008年度
(社)三原青年会議所
理事長予定者
住田 誠



平素より、(社)三原青年会議所に対し、暖かいご理解とご支援を賜りまして心より御礼申し上げます。2008年度の(社)三原青年会議所役員が決まりましたので、ここにご紹介させていただきます。

さて、(社)三原青年会議所は、1962年の創立以来「明るい豊かなまちづくり」を基本理念に様々な活動を展開してまいりました。一昨年に発表した私達のまちづくり構想、ビジョン「三原の誇想 創力」では、市民や行政を含む数多くの主体が、それぞれの特徴や機能を活かして、協働でこのまちを創

る仕組みが必要であると提唱しています。現在、三原市においても、協働のまちづくり指針を策定している状況で、私達が考えていた「協働のまちづくり」は、まさに目前となってきました。今後、市民が求めるまちづくりが、その仕組みに則って実現されるために、私たちの役割は、さらに重要になってくると感じます。

そこで、2008年度(社)三原青年会議所は、本年度のスローガン「心動共進」～互いに心を動かし、遙かなる未来へ向かって共に進もう～の志を受け継ぎ、住民主導で行うまちづくり、青少年の健全育成を目指した地域の共育力向上など、これまで取り組んできた私達の運動を、さらに積極的に展開します。明るい豊かな三原を、次の世代へ継承してゆけるように、青年らしく勇気と情熱を持って、元気に活動してゆきたいと思っております。

最後になりましたが、先輩諸兄の築いてこられた歴史と伝統を継承しつつ、会員一丸となって活動してまいります。今後とも引き続き、皆様の暖かいご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2008年度(社)三原青年会議所役員名簿

役職	名前	勤務先
理事長	住田 誠	(株) スミダ
直前理事長	渡辺 敏	(有) 渡辺 商会
特別理事	佐藤 協二	㈲タクトコーポレーション
副理事長	兼綱 猛晴	(株) カネツナ
	亀田 尚史	㈲サーブインターナショナル
	木田 多泰	和食処 登喜将
専務理事	原 邦高	(株) 原アルミ建材
	小林 正典	共和不動産(株)
理事	花田 章浩	(有) 花田 商店
	檜山 泰三	TKC 松山税理士事務所
	三好 慎一	(有) 広 興
	森川 朋和	(株) 森 剛
セクレタリー	矢崎 昌樹	アーキテクト/ペアー設計工房
	川村 竹治	川村 設備
監事	夜船 孝拓	セブンイレブン三原宮沖店
	菊川 美仁	(株) ガルバ興業
	守岡 輝幸	しまなみ信用金庫

9/9(日)

第37回広島ブロック会員大会 開催 創立45周年記念大会



松尾実行委員長

(社)三原青年会議所は、去る9月9日(日)本郷生涯学習センターにて、創立45周年記念式典を開催しました。式典には五藤市長をはじめ真嶋市議会議長、三原商工会議所伏見会頭、(社)日本青年会議所奥原会頭、県内外の青年会議所から多数の来賓の皆様にご臨席を賜り盛大に行われました。また同日、広島県内12の青年会議所が一同に会す広島ブロック会員大会が三原の地にて開催され、約500名のメンバーが参加し、本郷生涯学習センターにて会員大会、すなみ海浜公園にて大懇親会が盛会のうちに幕を閉じました。

(社)三原青年会議所は1962年創立以来「明るい豊かなまちづくり」を基本理念に様々な活動を

行っていました。本年で45周年を迎えましたが、これも偏に多くの先輩諸兄の弛まぬ努力の積み重ねとご協力をいただく諸団体の方々、地域の皆様のご理解ご支援の賜物と厚く感謝申し上げます。今後もメンバー一丸となり、更なる努力を積み重ね創立50周年に向けて邁進してまいりますので、変わらぬご協力とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

すなみ海浜公園にて開催した第37回広島ブロック会員大会の懇親会において、みはらTEPPAN倶楽部は直径2メートルの巨大お好み焼きを作りました。参加していただいた方は、あまりの大きさと美味しさに驚いていました。次回は三原浮城まつりにて披露いたしますので楽しみに！



8月例会開催

皆さん「やっさもっさ」 読んでますか?

広報委員会(坂井隆伸委員長)は去る8月20日(月)三原国際ホテルにおいて「これが俺流の広報だ!」～もし、あなたが広報委員長だったなら～と題し、8月例会を開催しました。今例会では市民1,000人アンケートの結果を基に、本紙「やっさもっさ」をより効果的な広報媒体にするべく、メンバー全員が現在の広報活動を見つめ直すことができました。

31年間絶やすことなく皆様と共に発行し続けている本紙「やっさもっさ」は、三原青年会議所が発してきたまちづくりへの理念と活動を、市民の皆様にとどのように伝えてきたのでしょうか。市民アンケートによると約1割(1万人)の方に毎月読んでいただいていたが、我々のまちづくり運動の意図を理解していただき、今以上に市民の皆様と相互に対話を行えるような(市民と協働での)広聴広報の形を目指してゆきたいと思っております。



やっさもっさ 伝言板

「ちょっと一言」投稿募集

みなさんの投稿を募集しています。特に、まちづくりへのご意見・ご感想をぜひともお聞かせください。

モニター募集

多くの皆様より協賛金をいただき、皆様とともに発行しているこちらの青年会議所新聞やっさもっさ。良い紙面作りのためにモニターになってご意見を聞かせていただいただけませんか? 毎月の簡単なアンケートを中心に実施いたします。

すべてのお問い合わせ・投稿先は…

(社)三原青年会議所

〒723-0052 三原市皆実4-8-1 三原商工会議所内
TEL: (0848) 63-3515 / FAX: 62-1141

Eメール info@mihara-jc.com
HP http://mihara-jc.com
「やっさもっさ」ホームページ
http://www.mihara-jc.com/y-mossa.htm

三原青年会議所

検索



← 携帯の方は、こちらからお問い合わせ下さい。

発行元 (社)三原青年会議所

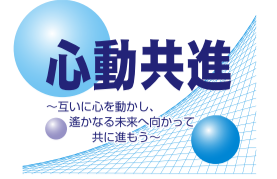
編集 広報委員会

やっさもっさ TV

今月号の放送予定日 (三原テレビ放送)

	9/25日	26日	27日	28日	29日	30日
8:00		○	○	○	○	
9:30		○	○	○	○	
17:00					○	
20:30	○	○	○	○	○	○
22:30	○	○	○	○		
24:30					○	○

MCAT



2007年10月25日 Vol.351

MIHARA ANNIVERSARY

共育委員会 9月例会

今だからこそ **日本の魂** を見直そう！

～「**道徳**」をキーワードに三者の主張を聞く！～

近頃、聞くに堪えない悲惨な問題・犯罪の数々がメディアから伝えられます。またこのまちの教育現場においても、不登校・いじめ・青少年犯罪・家庭教育力低下などの問題を耳にします。このようになってしまった原因の一つには、教育という側面が関係しているのではないのでしょうか。この国の歴史を紐解いてみると、私たちの先人は他国にも誇れる高い道徳心をもち続けて来たようです。今回はそれを再検証し、明るい豊かな未来のためにこれからの教育・共育はどうあるべきか。ゲストの皆様とそれぞれの立場で話し合いました。

なぜ戦後この国の教育が大きく様変わりしたか？

第二次世界大戦に敗れGHQ占領統治の中、彼等は日本が再度脅威にならないよう戦争についての罪悪感を植え付けるための政策を実施した。そのためには「武器」でなく「情報」「教育」であるという考えに基づき、あらゆるメディアを独占し利用したが、国民は検閲を受けていることすら知らされていなかった。先の大戦は計画戦争でなく日本が追い詰められ自衛のための受動戦争であり、後にマッカーサーも米国上院外交軍事委員会で「日本が行った大東亜戦争は自衛のための戦争だった」と懐述している。しかしGHQは戦争の原因を「日米の国家間の対立」から「日本の戦争指導者と日本国民の対立」にすり替えた。大都市への無差別爆撃も広島・長崎への原爆投下も戦争指導者の責任で起こったという論理を展開し、次第に日本に定着し教科書にも記述されるようになった。民主化という名の下「情報」「教育」を統制し、この国の精神・哲学・道徳心を失わせ新しい社会を作る、これがGHQの戦略であったと考える。



(社)日本青年会議所 近現代史教育実践委員会 小島副委員長

この国の民主主義の問題点

民主主義国家というものは、明文化された法律と別に道徳律があるものである。たとえばアメリカの場合はキリスト教の宗教観が道徳律の基本となっている。神が与えた権利を自然権(人権)としてとらえている。日本においてはこういったアメリカの道徳律を理解しないまま「自由・権利・平等」のみの憲法や教育基本法が出来てしまったのではないかと感じる。

古き良き 日本の魂(こころ)

八百万(やおよろず)の神とは？ 山の神、水の神、学問の神、生き物の神等 我々の祖先は自然や目に見えぬものに対して畏れの気持ちや感受性が敏感で、全てのものに「八百万の神」が宿ると考えた。これが日本人の自然崇拝の思想であり神道である。それをもとに「わびさび」「もののあわれ」といった独特の感受性・美意識が生まれると同時に、多くの洗練された文学も生まれ、そしてまた、独自の道徳観を形成する要因にもなった。



共育委員会 田尾委員

武士道とは？

仁(思いやり) 義(正義の心) 礼(礼儀・礼節) 智(叡智・工夫) 信(信用・信頼) 忠(偽りの無い心) 孝(父母を大切にすること) 悌(年長者に従順な心) 現在一般に「武士道」といえば、武士社会が減んだ後の明治期に日本のアイデンティティの拠り所の一つとして再創造されたものが一般的である。西洋の新しい価値観の波が押し寄せてくる中、日本人とは何かを問い直す必要があった。これ以降武士道は武士の形を捨て、精神を引き継ぐ形で日本国民の道徳心としての規範的存在となる。

戦後教育問題

自由・権利か義務・責任か？

戦後の憲法や教育基本法には、日本的な道徳精神や家庭教育の重要性にあまり触れず、義務・責任より自由・権利を重視し、それをもとにした教育が行われてきた。公という概念をないがしろにして、個人主義が叫ばれた結果、利己主義的な民主主義になってしまったのではないだろうか。また平等という名のもと出来るだけ競争をさせない教育がされてきたが、世の中を生きてゆく強い心を育てることも教育の大きな役割ではないだろうか。

道徳教育は 大変重要！

道徳教育なくして子供は正しく育たないと考え、学校教育の中でも非常に大切にしている。しかし学校教育だけで子どもたちに道徳が根付くものではなく、家庭での道徳教育も同じように重要であり連携して行う必要がある。以前は道徳教育が軽視されていた部分もあるかもしれないが、文部科学省からの指導のもと現在は確実に変化を遂げている。「心のノート」という道徳教材を配布し、それを基本にして年間指導計画を作り、道徳教育を行っている。また道徳の授業を公開し、地域と一緒に道徳教育をおこなっている。ぜひ市民の皆様に関心を持っていただきたい。JCの皆さんが「日本の魂(こころ)」をテーマに取り組みされていることを非常に心強く思う。



三原市教育委員会 植木教育長

日本人のひたむきな努力

阪神大震災のとき、この国は諸外国のような略奪や暴動はなく、皆で助け合って努力し復興を遂げた。これは日本人に根ざしている道徳のおかげとも言えるだろう。この国には素晴らしい心があることをもっと教えなければならないし、大切にしなければならない。戦後日本は、それまでの日本を全面否定するところから始まったが、それでは自信も誇りもなくなってしまふ。その当時の国民がどれだけ苦労したか、また日本が戦後60年でこれだけ発展した偉さ、勤勉さ、努力の素晴らしさ、またその原動力となったものは何かをしっかりと子供たちに伝えてゆくという課題があると考えている。

教育長の目指す これからの学校教育

「教育創造」どこにも負けない質の高い三原の新しい時代の学校教育を創る。「三原再発見」故郷三原のことを学び三原が好きになる教育。そして将来は世界に羽ばたく活躍。故郷三原に自信と誇りを持つ教育。

道徳心を育もう！

私たちは戦争体験をもとにこの国の歴史に悪い印象を持ちがちだが、過ちは反省した上で良い部分もしっかり向き合い、この国に誇りと愛情を持って歴史・伝統・精神を大切にすべき。その中で日本の魂(こころ)に表される道徳心こそ、我々が今見直さなければならない大切なものではないかと思う。自由・権利・平等も大切だが、その反面にある義務・責任・公共心とのバランスを見直し、まわりの人に対して、わがまちに対して、祖国に対して思いやりの心を持つことが必要である。また子どもたちの人間性を育むということは家庭・地域教育の大きな責務だと思う。このまちの明るい未来のために、子どもたちに「道徳心」を育むということを家庭・学校・地域が一体となって取組んでゆきましょう！



共育委員会 村上委員長

またかきいたか

(社)三原青年会議所新聞は1962年に誕生以来45年の永きに渡る先輩諸兄の弛まぬ努力の積み重ねと地域社会の皆様方の深いご理解とご協力のおかげで、今年で45周年を迎えることができた。◆誕生以来多くの先輩諸兄、並びに現役会員は「明るい豊かなまちづくり」を

基本理念に修練・奉仕・友情を三信条に掲げ、自分たちの住むまちを良くしてゆくことが明るい豊かな三原となり、その活動が広島全体に広がり、更には日本を「明るい豊かな国」にしてゆけると信じ活動を行っている。しかし、逆を言えば「明るい豊かなまちづくり」ができていれば青年会議所とゆう名の団体は必要ないのである。◆将来を担う

子どもたちを育む共育環境の充実・市民協働でのまちづくりへの提案、実践など多くの活動、事業を展開してきた中で、多くの市民の方と接する機会があるが、活動に参加してみたかったがそのような機会が無かった人、また個人的に色々な団体と共に三原を良くしてゆこうとしている人など様々な人がいた。青年会議所が成すべきことはこ

の三原に住む人がまちを良くしてゆこうと考え実行することができる人を、一人でも多く増やしてゆくことではないだろうか。◆今後も我々(社)三原青年会議所は活動・運動を行ってゆくが、願わくばいつか笑って解散することのできる日が来ることを願う。

速報!
10/8(月)
リージョンプラザにて

話題のよさこい踊り
青少年チーム

関西京都今村組 今村克彦 in三原

熱血教師



迫力の踊り!



リアルな体験談



情熱の教育論



楽しい踊り

共育委員会(村上睦宏委員長)は去る10月8日(月)リージョンプラザにおいて共育事業「今村克彦講演会&今村組よさこいLIVE in三原」を開催しました。本事業は現代の子どもたちを多くの問題が取り囲んでいる中、大人にはしっかり子どもに向き合って欲しい、子どもには夢と目標を胸に持って一生懸命に毎日を送って欲しいとの想いで、実施し、当日は約200名もの皆様にご来場いただき、彼らの情熱を感じていただきました。この情熱がより多くの三原市民へ広がってゆけば、より良い教育環境に、そしてより良い三原の未来に繋がってゆくことを確信しております。

ご来場いただいた市民の皆様、そしてご協賛・ご協力をいただきました企業・行政の皆様、本当にありがとうございました。(詳細は次号に掲載いたします。)



そしてエンディングは参加した子どもたちが舞台に…!

みはらTEPPAN倶楽部

三原をもっと明るく元気なまちにしてゆこう!という目標に向かって現在活動しているみはらTEPPAN倶楽部も、6月の準備会議から始まり、ミーティングも4回目を迎えました。はじめはどのようなお好み焼きが好きか?どんな味付けが好きなのか?などのお好み焼き談義から始まったこのミーティングも、回を重ねるごとに参加者の皆さんの意識も高まり、第4回のミーティングでは、11月11日に開催される「浮城まつり」への参加が決まったことで、PRチームと製作チームに分かれ、詳細を決定しました。今回からメディア関係の方も活動に参加していただくなど、様々な方面で協力していただくことも決まり、参加者全員の士気もさらに高まってきております。三原浮城まつりでは、市

民の皆様があっ!と驚く様なイベントを企画しておりますので、ご期待下さい。
みはらTEPPAN倶楽部の活動第一弾として、この集いをきっかけに協働で行うまちづくりの力を、市民の皆様を感じていただきたいと思っておりますので、今後ともみなさんのご支援・ご協力よろしくお願い致します。



(協働委員会 委員長:作田佳史)



ミーティング風景

研修セミナー開催

先のことをイメージして戦略を!!



藤原直哉氏

(社)三原青年会議所 拡大・研修委員会(井上 尚彦 委員長)は9月13日(木)三原市中央公民館 中講堂にて、時代の潮流とリーダーシップ ~人と企業が繁栄し続ける秘訣 ~と題し、経済アナリスト 藤原 直哉 氏(シンクタンク藤原事務所)をお招きし、研修セミナーを開催いたしました。当日は我々メンバーだけでなく、様々な企業・行政の方々にご参加いただき「経済」「政治」「国際情勢」「組織のリーダーシップ」について講師独自の目線からの分析や、それらの裏側を聞くことができ、今後の流れをわかりやすく解説いただきました。



第2弾 三原一受けたい授業開催!

(社)三原青年会議所メンバーにより、9月25日(火)広島県立総合技術高校にて、前回(詳細は3月号に掲載)に引き続き、第2弾として現代ビジネス科1年生を対象として、特別講演を開催いたしました。不慣れなことと思うように話を進められない場面もありましたが、実体験を基に、社会人としての心得を話す姿は、荒削りではありますが、強く訴えることが出来たのではないのでしょうか。我々メンバーも日頃、生活していてこのような体験をすることはなく、心地のいい緊張感を味わっていただきました。また少しでも地域貢献ができたのではと感じております。



やっさもっさ 伝言板

「ちょっと一言」投稿募集

みなさんの投稿を募集しています。特に、まちづくりへのご意見・ご感想をぜひともお聞かせください。

モニター募集

多くの皆様より協賛金をいただき、皆様とともに発行しているこちらの青年会議所新聞やっさもっさ。良い紙面作りのためにモニターになってご意見を聞かせていただいただけませんか? 毎月の簡単なアンケートを中心に実施いたします。

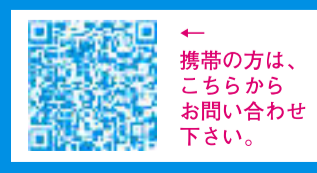
すべてのお問い合わせ・投稿先は…

(社)三原青年会議所

〒723-0052 三原市皆実4-8-1 三原商工会議所内
TEL: (0848) 63-3515 / FAX: 62-1141

Eメール info@mihara-jc.com
HP http://mihara-jc.com
「やっさもっさ」ホームページ
http://www.mihara-jc.com/y-mossa.htm

三原青年会議所 検索



← 携帯の方は、こちらからお問い合わせ下さい。

発行元 (社)三原青年会議所 編集 広報委員会

やっさもっさTV

今月号の放送予定日 (三原テレビ放送)

	10/30日	31日	11/1日	2日	3日	4日
8:00		○	○	○	○	
9:30		○	○	○	○	
13:30		○	○	○	○	○
17:00					○	
20:30	○	○	○	○	○	○
22:30	○	○	○	○		
24:30					○	○

MCAT



三原JC 渡辺理事長

三原市長 五藤康之



(社)三原青年会議所は、10月24日(水)、ボボロ(三原市芸術文化センター)にて、三原市長 五藤康之氏をお招きし、雑談も交え和やかな雰囲気のカレーライス会を開催いたしました。

行政のトップである三原市長に、これからの三原における行政の展開等を聞くと共に、(社)三原青年会議所の活動に対する評価をいただき、活動をさらに円滑に行えるような会になりました。

※カレーライス会とは、(社)三原青年会議所の理事役員が三原市長と一緒にカレーを食べながら、三原の将来について語り合う恒例の懇談会です。

をしなければ減り続けます。Uターン・Iターンということで定住促進という政策を進めていますが、一度に多くの方が移り住むなり、帰ってくるとは考えられません。即効性があり効果が大きいのは大企業の誘致だろうと考えております。災害が少なく、交通の便が良いことを活かし、推進しております。



JC 旧三原市のころから6年間、市長を務められてこれでしたが、市長として、三原市として取り組んでゆきたいこと、今後実現させたいことに対して壁になっている部分がありましたらお聞かせください。

市長 合併してから、私が最もすべきことは、新市としての一体性を図ることだと考えます。それから基本的に合併時に策定した新市建設計画やそれに基づく長期総合計画に則って実施計画を毎年作っております。その中で大きな壁というのはなく、ほぼ予定通りに進んでいるように思います。

JC 全国的に10万人クラスの市では人口は減少しており、三原も決して例外ではありません。三原市の現人口が、出生率・転入率に比べて、死亡率・転出率が多いのと、高齢者のかたの比率が多いという印象がありますが、どのようにお感じですか。

市長 18年度の三原市では、418人減っています。それを細かくいうと生まれた人が790人、亡くなったかたが1,095人、転入が3,212人、転出が3,325人、差し引き418人減っています。やはり、まず人が集まること

JC 三原の未来にとって一番の課題は子どもたちに関することだと考えます。そこで、少子化問題に対してどのようにお考えですか。

市長 現在の15歳未満の比率は、12.9%と非常に低いのです。そこで今年から「三原市いきいき子育て支援プロジェクト」を実施しています。これは子育てを応援をする事業で、例えば乳幼児の医療費助成があります。これは乳幼児医療費の助成対象を小学校卒業まで拡大して、個人負担を1回500円までとしています。また、面倒をみることもできる方、みて欲しい方の双方を登録制にしたサポート支援(ファミリーサポートセンター)も今年設立しました。また、大和では幼稚園機能と保育所機能を統合させた新たな取り組みなど、子どもを育てやすい環境づくりにも積極的に取り組んでいます。

JC 不登校の問題や青少年犯罪の問題を解決してゆく上で、大人たちがもっと情熱を持って子どもたちに接する必要がある、また子どもたちに道徳心を伝えてゆくことが必要であると我々は考え事業を行っておりますが、どのようにお考えですか。

市長 私自身、世の中で起きている状況を見て感じることは、学校の責任についていろいろ言われていますが、学校にも限界があって、家庭と学校のそれぞれが役割分担してゆくことが大切だと思いますし、教育の基本は家庭にあるものだと思います。しかし核家族が増える等の状況で難しい部分もあり、市役所でも放課後子ども教室を受け持つなど様々な取り組みをしております。また青年会議所の皆さんが取り組まれているように家庭でできないことを地域の大人で補ってゆける形が出来上がれば素晴らしいと考えます。

JC 地域支援センター設置および強化が住民へのサービス向上、また市民参加型のまちづくりになるのではないかと考えますが。

市長 JCの作られたビジョンの中でも訴えられていますね。地域支援センターのビジョンなどを私も読ませていただいております。各小学校区で設置できれば、地域密着性の高い、市民にとって身近で様々なサービスを提供することができます。現在、協働のまちづくり指針をつくっておりますので、ぜひ参考にしたいと思っております。

まとめ

「魅力あるまち」とは何でしょうか。勤務先が三原でありながら、周辺都市から三原に通われている方がいることは事実で、三原に住まないのは、映画館、ボウリング場などの娯楽施設がないためという理由も多いそうです。三原市は交通の便にしても、観光資源にしても他都市に比べて恵まれていると思っております。市民みんなが財産として気づき、ひとりでも多くの方が「まちづくり」に興味を持ち、三原市民が一体感を持ち、それらを活用してゆく、また創ってゆくことが今後のまちづくりの中で重要なことであると考えます。

みたがきいたが 今年も残すところ一ヶ月あまりとなり「今年を振り返る…」そんな時期が近づいてきた。今年よく耳にした言葉で「鈍感力、ナントカ還元水、偽装、ハニカミ王子」等がある。その中でも「食の安心・安全」を完全に裏切った偽装問題。◆その偽装を行った役員

が「みんなも同じことをやっている」といった言葉が、これだけ相次げば今では真実味を帯びる。だが「バレなかったただ、みんなやっていることだ」といった声が、消費者から聞こえて来るのも事実である。消費者には、情報や消費・賞味表示を信用する以外、安全か安心なのか確認する術を持っていない。◆移転計画が進む三原市

新庁舎の在り方を考える新庁舎建設整備検討会が発足した。その検討会には公募の市民も含まれており、市民アンケートも実施されることから、行政単独で計画を進めておらず、協働で行おうとしている様子がうかがえる。だが「移転を何故行う必要があるのか、何が変わるのか、税金の無駄使いだ」といった声が市民から聞こ

えてくるのも事実である。◆行政側は市民へ新庁舎移転計画に関する情報を積極的に公開し、お互いが経緯構想を理解した上で進めてゆくことが必要である。そうすることで、市民からの信用を得て、祝福される新庁舎になるのではないのだろうか。

今村克彦講演会 & 今村組よさこいLIVE IN三原 開催報告!

子どもたちへ
夢と勇気を
大人たちへ情熱を



明るい豊かな
三原の未来のために。
その三原の未来を担う
子どもたちのために。

子どもたちに もっと多くの愛を!

共育委員会は家庭・学校・地域が一体となって青少年の育成を行ってゆくことを目指して活動をおこなってきました。今年度は、まずこのまちの子どもたちが直面する様々な問題(三原TV「このまちの教育問題徹底討論」)を取り上げ、その問題を解決してゆくためには、子どもには夢と勇気を、大人たちには情熱をしっかりと胸に持ってもらう(今村克彦&今村組イベント)が必要あり、そして家庭・学校・地域が子どもたちに伝えてゆくべき最重要事項とは道徳心であると主張(やっさもっさ10月号「日本の魂(こころ)」)してまいりました。

しかしまだゴールは先にあります。特に近年は時代の移り変わりにより、地域の教育力と家庭の教育力の低下が深刻です。特に市内中心部でそれが顕著であり、その結果子どもたちの教育の責任が家庭と学校に依存してきているようです。時代の流れを否定することはできませんが、その対策の一つには地域が今まで以上に共育の必要性を感じ、もう一歩前に出てゆく必要があるのではないのでしょうか。家庭と地域の教育というものは子どもの「心」という最も重要な部分を担う存在です。このまちに住む一員として、今住んでいるまちに愛情と責任を持って、そこにいる子どもたちに関わってゆく義務が私たちにはあります。そしてそれに関わる機会は「PTA」「おやじの会」「放課後子ども教室」等多くあると思います。身の回りのちょっとした共育の機会を見逃さず関わってゆきましょう。もちろん三原青年会議所も今後も積極的に青少年の育成に取り組んでゆきます。

(共育委員会 村上睦宏)



ご来場ありがとうございました

10月8日(月)、まだ残暑厳しい中、天候に不安もありましたが空も晴れ、多くの市民の皆様にご来場いただきましてありがとうございました。参加された皆様には喜んでいただけたようで、嬉しく思っております。

熱い情熱をこのまちに!

このまちでもいじめ・不登校・青少年犯罪など、子どもたちを様々な問題が取り囲んでいます。そしてその原因は子どもでなく我々大人たちの無関心や教育力の低下、行き過ぎた個人主義など。

そんな中「今村組」という、よさこい踊りチームを通して、様々な悩みや問題を一生懸命乗り越えて生きる子どもたちと、その子どもたちに真剣に必死に向き合い導く「今村克彦」氏。彼等のような熱い情熱が今、私たちにも必要なのではないのでしょうか。

このイベントを通してその情熱がこのまちにも伝わってゆくことで、より良い共育環境に近づくことを願います。



ご協力いただいた地域の皆様

当イベントは三原青年会議所のみではなく、地域の多くの企業・団体から協賛金をいただき、またご協力のおかげで開催することができました。皆様に厚く感謝を申し上げます。

教育の役割と責任

心…(人間力)
生きる力・善悪・礼儀・やさしさ・公共心など

知…(学力)
考える力・学力・知恵・判断力など

体…(体力)
体力・健康・運動能力など

家庭

しつけ・礼儀
愛情・厳しさ

運動・食事

学校

道徳授業
集団生活

授業・テスト

部活動
体育

地域

コミュニケーション
上下関係

スポーツクラブ
習い事

より大きく
→

